

平成 28 年度 伴走型小規模事業者支援推進事業

地域経済動向調査報告書



平成 28 年 12 月
足利市
坂西商工会

目次

I. 足利市の経済動向	1
1. 人口動態.....	1
(1) 人口の推移	1
(2-1) 高齢化率の推移	3
(2-2) 年代別人口割合	4
(2-3) 足利市内の人口構成.....	5
(2-4) 足利市の世帯数の推移	6
(2-5) 足利市の世帯	7
(3-1) 人口増減の推移	8
(3-2) 転出入動向.....	9
(3-3) 栃木県の転出入動向.....	11
(3-4) 出生数.....	12
2. 経済動向.....	13
(1-1) 地域経済循環状況	13
(1-2) 足利市の産業	15
(2-1) 足利市の製造業	16
(2-2) 製造業における従業者.....	17
(2-3) 製造品出荷額.....	18
(2-4) 製造業の労働生産性.....	19
(2-5) 足利市の繊維業出荷額.....	20
(3-1) 就業者数とその産業構成.....	21
まとめ.....	23
II. 栃木県の情報	24
1. 県民経済計算.....	24
2. 市町村民経済計算.....	30
3. 栃木県の工業製品、農産物.....	36
4. 栃木県内事業所数、従業者数等	38

I. 足利市の経済動向

1. 人口動態

(1) 人口の推移

足利市の2015年の総人口は総務省統計局が2016年10月26日に公表した国勢調査結果によると149,452人。5年前と比べると3.3%の減少。国立社会保障・人口問題研究所が2010年までの国勢調査に基づくトレンドから予測した2015年人口より1411人(1.0%)多い。

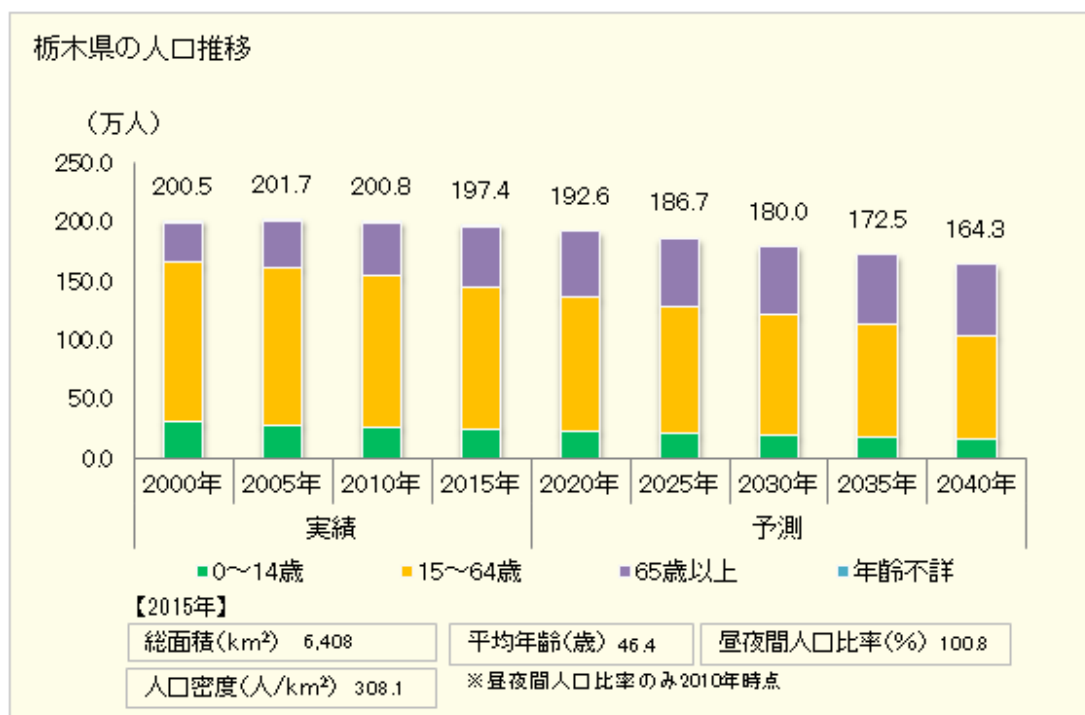
「将来推計人口(2013年3月推計)」によると、今後2015年から2040年までには27.3%減少し、約10.9万人となる見込みである。このとき2040年の平均年齢は、2015年の48.5歳から4.7歳上昇し、53.2歳となる。

図表：足利市の人口の推移（国勢調査ベース）



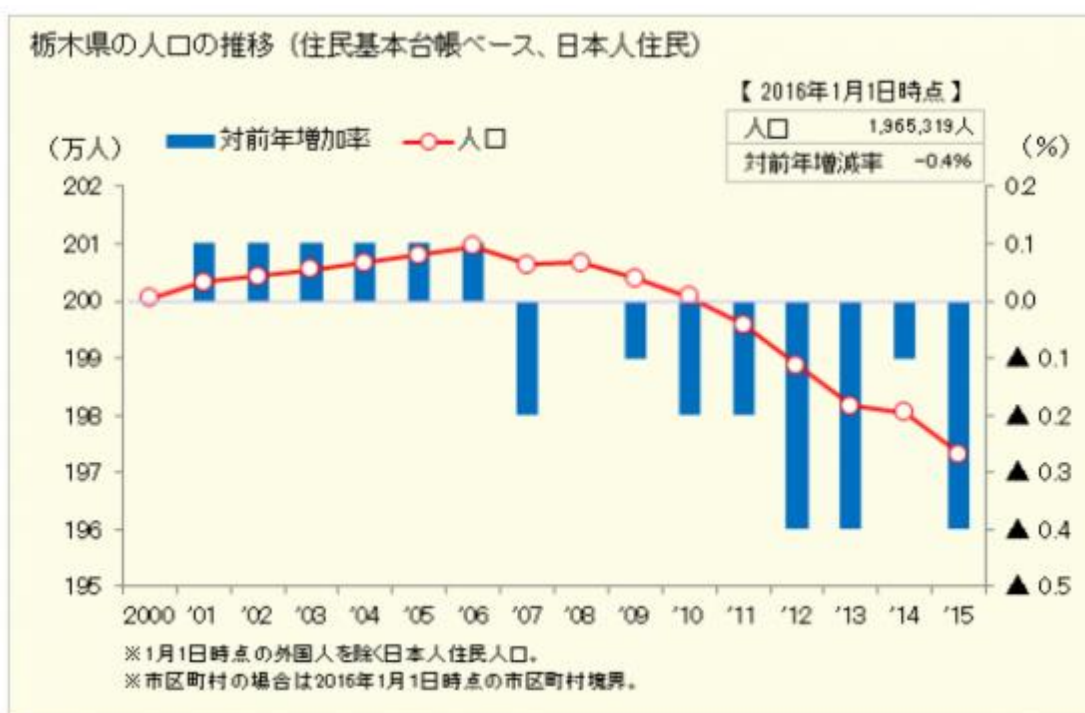
出典：「GD Freak！」(jp.gdfreak.com)

図表：栃木県の人口の推移（国勢調査ベース）



出典：「GD Freak！」(jp.gdfreak.com)

図表：栃木県の人口の推移（住民基本台帳ベース）



出典：「GD Freak！」(jp.gdfreak.com)

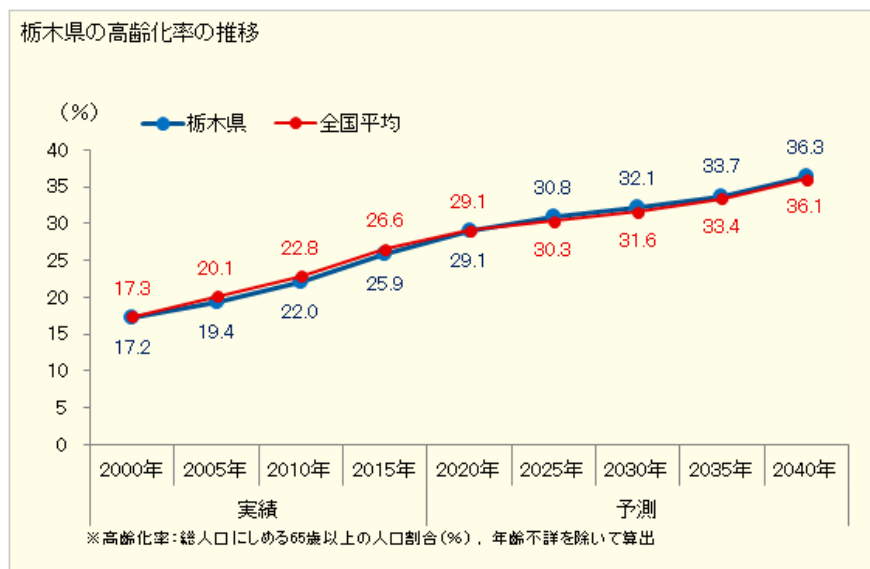
(2-1) 高齢化率の推移

足利市の2015年の総人口に占める65歳以上の割合（高齢化率）は30.3%。すでに3割を超えており、全国平均（26.6%）よりも3.7ポイント高い。今後、高齢化率は2040年までに9.1ポイント上昇し、39.4%に達し、おおよそ10人に4人が高齢者になると見込まれる。

図表：足利市（上）と栃木県（下）の高齢化率の推移



出典：「GD Freak！」(jp.gdfreak.com)

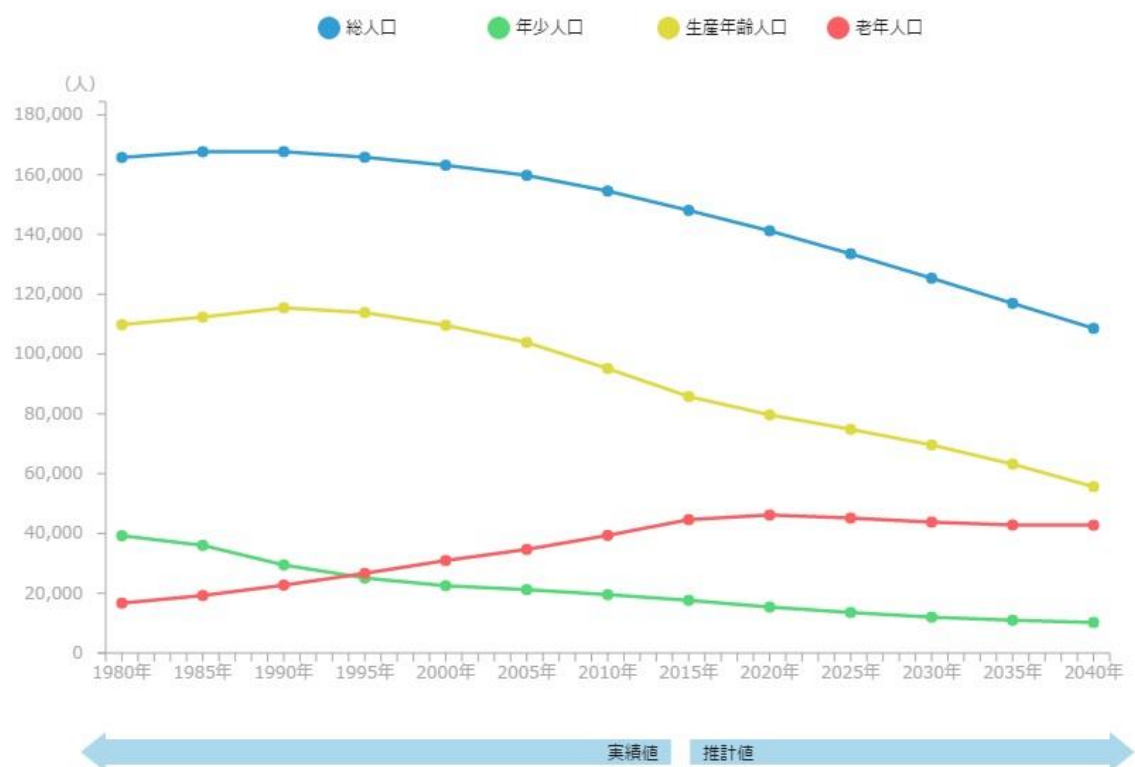


出典：「GD Freak！」(jp.gdfreak.com)

(2-2) 年代別人口割合

足利市の総人口に占める年代別人口割合について、2015年と2040年の推計値で比較すると、生産年齢人口は57.9%から51.2%に、年少人口は11.9%から9.4%に減少する一方、老年人口は30.1%から39.3%に増加すると見込まれる。

図表：足利市の年代別人口推移

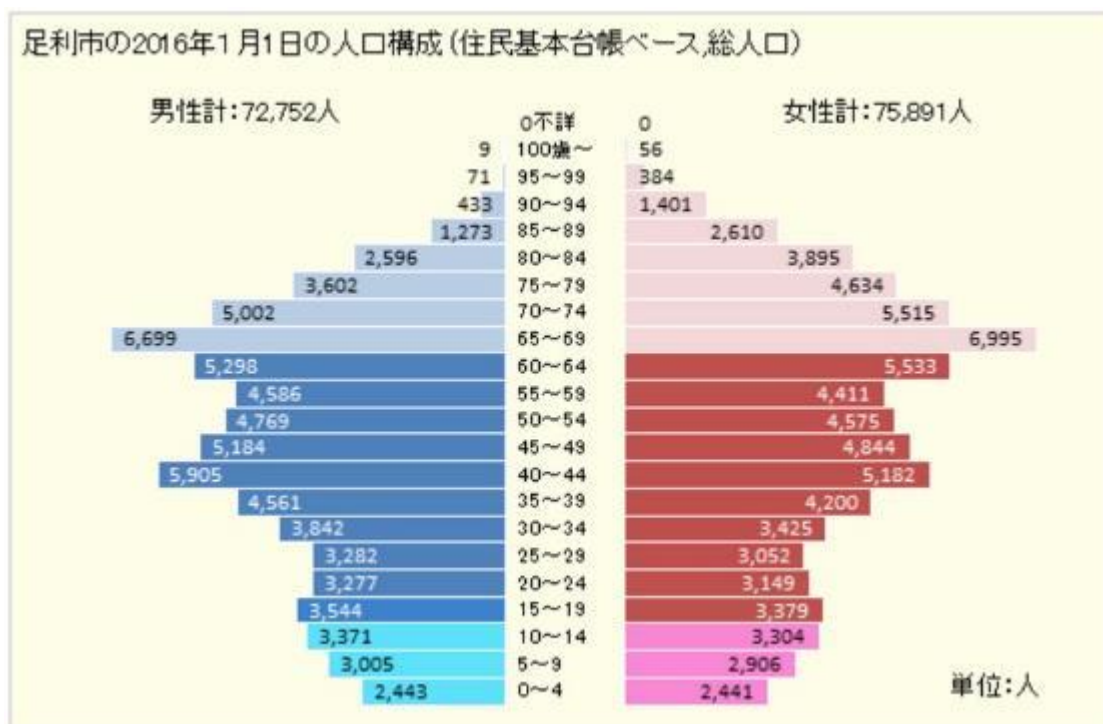


出典：「RESAS」

(2-3) 足利市内の人口構成

2016年1月1日における足利市の総人口は148,643人（外国人を含む）で、男性が72,752人、女性が75,891となっている。そのうち65歳以上の高齢者は30.4%をしめ、人口の3.3人に1人が65歳以上、7.1人に1人が75歳以上で、高齢者(65歳以上)と生産年齢人口(15～64歳)の比率は、1対1.9となっている。つまり、若者ないし壮年または中年の1.9人がひとりの高齢者を支える社会となっている。全国平均では2.3人にひとりの割合となっている。

図表：足利市の人口構成

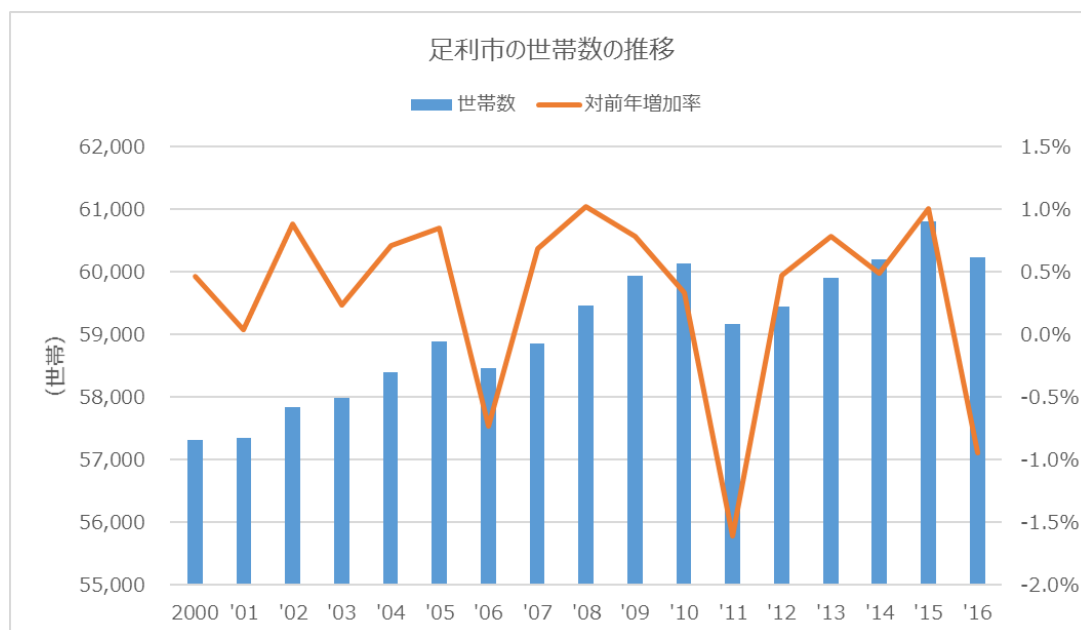


出典：「GD Freak！」(jp.gdfreak.com)

(2-4) 足利市の世帯数の推移

2016年1月1日時点の世帯数は60,233世帯。前年からマイナス0.9%、572世帯の減少。10年前の2006年からはプラス3.0%(年率換算プラス0.3%)、1,774世帯の増加。2016の1世帯当たり平均人員は2.4人。10年前は2.8人で、この10年間で1世帯当たり人員は0.4人減少。

図表：足利市の世帯数の推移



※各年1月1日現在の世帯数

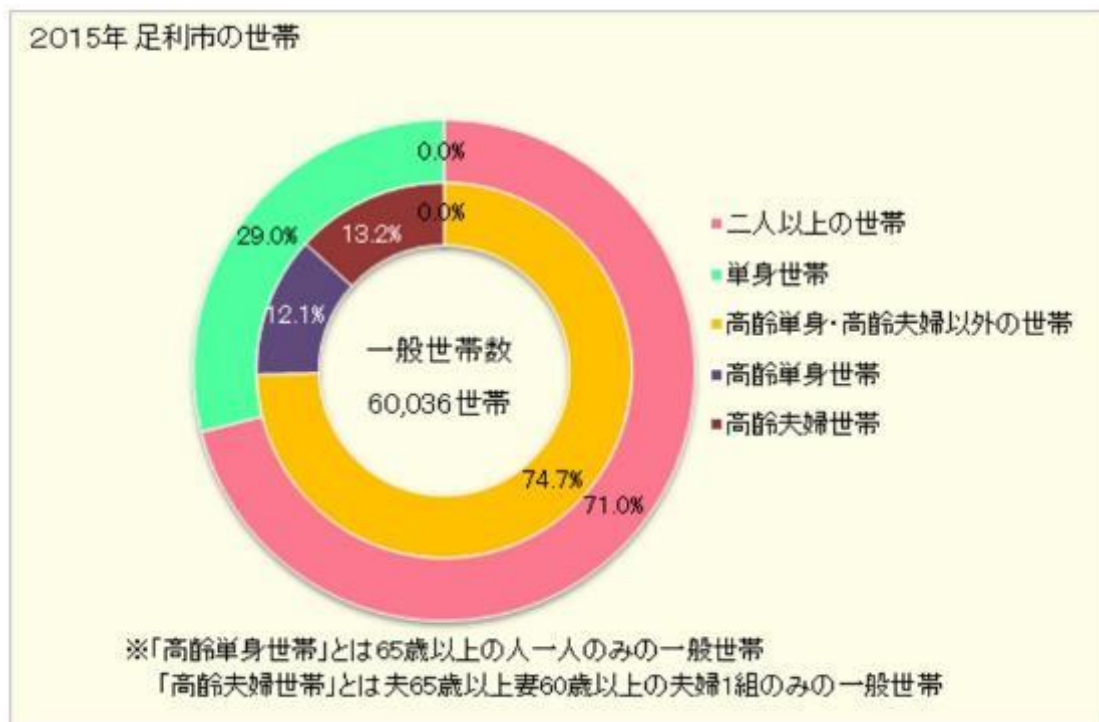
※国勢調査を基準として、毎月の住民登録移動数を加除して算出（外国人も含む）

出典：「足利市ホームページ」より作成

(2-5) 足利市の世帯

足利市の2015年の一般世帯総数は60,036世帯で、その内訳は、単身世帯が29.0%、二人以上の世帯が残り71.0%、また高齢単身世帯(65歳以上の単身世帯)と高齢夫婦世帯(夫65歳以上で妻60歳以上の夫婦一組の世帯)を合わせた割合は25.3%となっている。高齢者のみの一般世帯の割合は全国平均(22.5%)に比べ5.9%ポイント高くなっている。

図表：足利市の世帯数の推移（2015年）



出典：「GD Freak！」(jp.gdfreak.com)

(3-1) 人口増減の推移

1995年以降、足利市の総人口とともに生産年齢人口もマイナスに転じ、以降下がりを続けている。

図表：足利市の人口増減



出典：「RESAS」

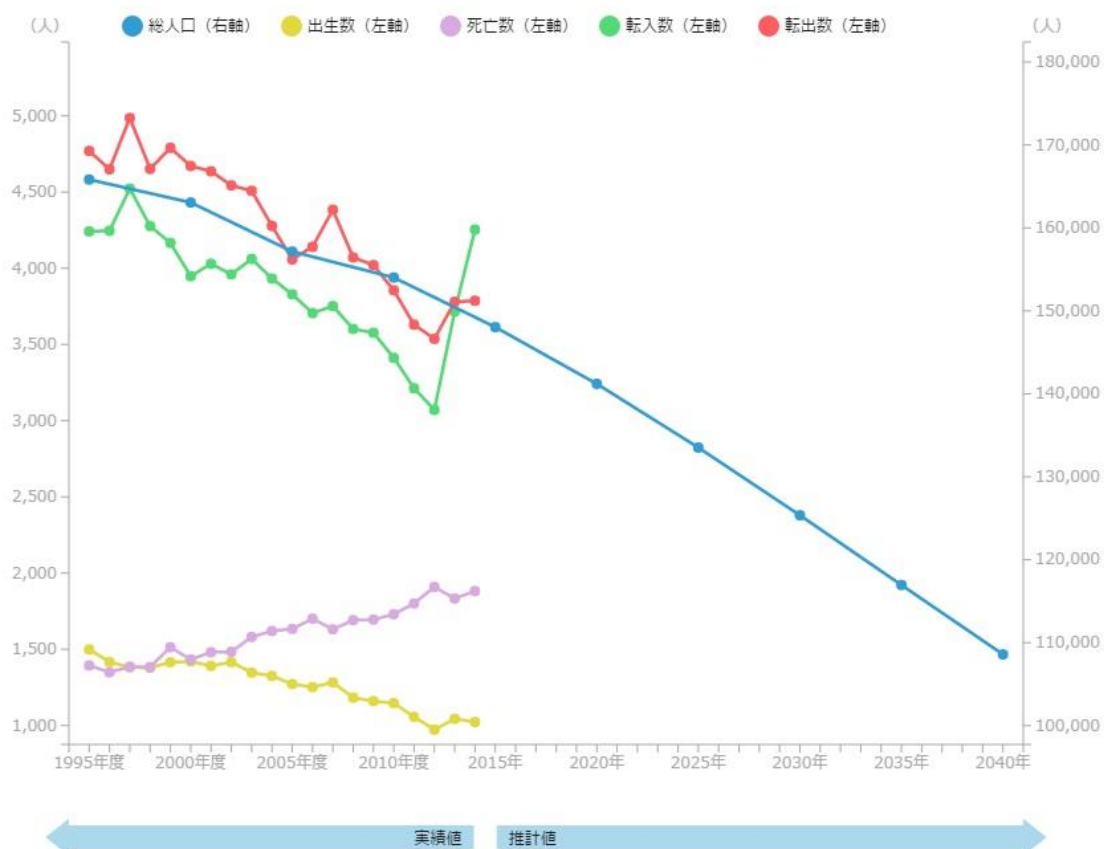
(3-2) 転出入動向

足利市の転出入動向をみると、2012年以降2年連続で転入が転出を上回った。栃木県全体を見ると転出が転入を上回っている状況だが、足利市単独で見ればここ2年ほど転入超過となっている。

年齢階級別純移動数に見るように、特に0～14歳の若年層の増加が目立った。

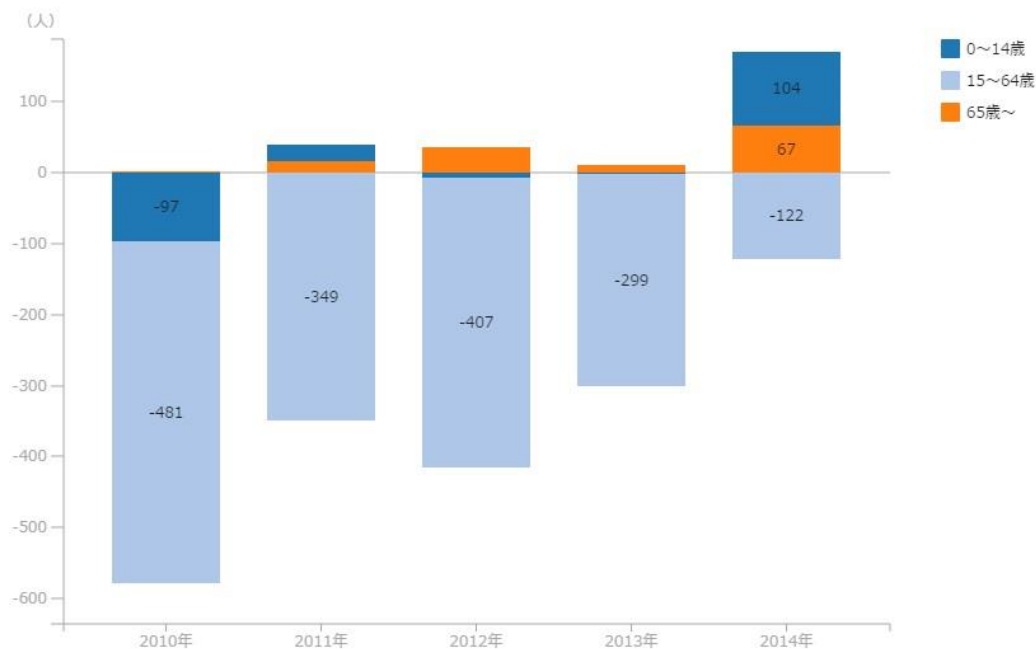
但し、国勢調査による純移動数では、10歳代後半（15～19歳から5年後の20～24歳）の時期の転出が非常に多く、10歳代前半（10～14歳から5年後の15～19歳）と20歳代前半（20～24歳から5年後の25～29歳）の転出も多くなっている。10歳代～20歳代の若い世代を中心に、進学や就職などをきっかけとした転出超過となっていることが人口の減少傾向の要因と考えられる。

図表：足利市の出生数・死亡数／転入数・転出数



出典：「RESAS」

図表：足利市 年齢階級別純移動数

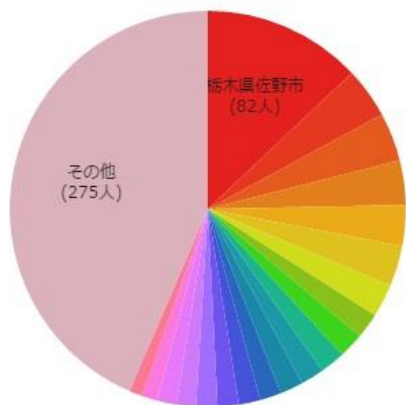


出典：「RESAS」より抜粋

図表：From-to 分析（定住人口） 2014年

転入超過数内訳

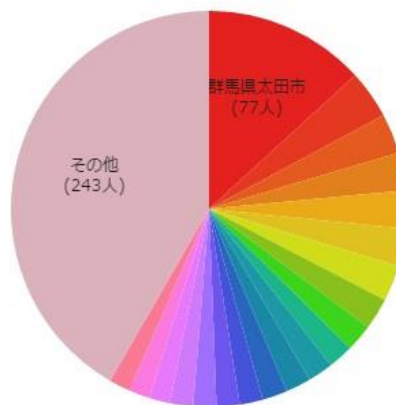
総数



- 1位 栃木県佐野市 82人 (13%)
- 2位 群馬県伊勢崎市 26人 (4.1%)
- 3位 群馬県桐生市 25人 (4%)
- 4位 埼玉県越谷市 23人 (3.6%)
- 5位 埼玉県草加市 21人 (3.3%)
- 6位 栃木県那須塩原市 21人 (3.3%)
- 7位 群馬県板倉町 17人 (2.7%)
- 8位 神奈川県横浜市神奈川区 13人 (2.1%)
- 9位 群馬県千代田町 13人 (2.1%)
- 10位 栃木県真岡市 13人 (2.1%)

転出超過数内訳

総数



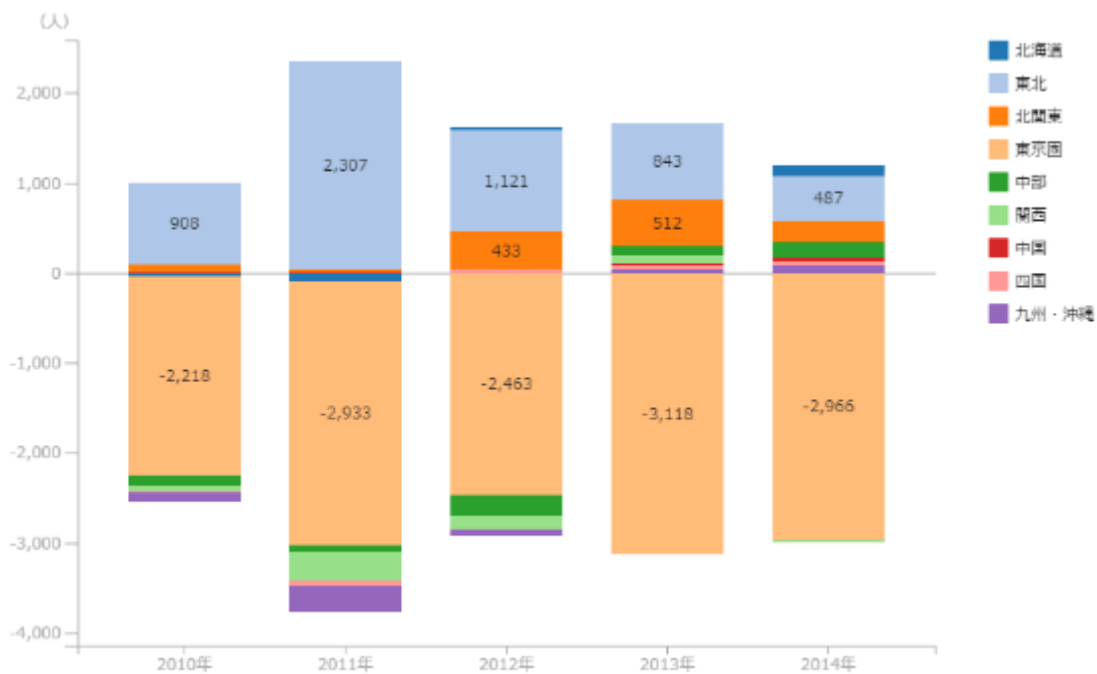
- 1位 群馬県太田市 77人 (13.2%)
- 2位 群馬県みどり市 23人 (3.9%)
- 3位 東京都豊島区 19人 (3.3%)
- 4位 東京都葛飾区 18人 (3.1%)
- 5位 埼玉県深谷市 18人 (3.1%)
- 6位 群馬県高崎市 18人 (3.1%)
- 7位 東京都世田谷区 17人 (2.9%)
- 8位 栃木県宇都宮市 15人 (2.6%)
- 9位 福島県いわき市 13人 (2.2%)
- 10位 東京都渋谷区 12人 (2.1%)

出典：「RESAS」より抜粋

(3-3) 栃木県の転出入動向

栃木県全体では、転出が転入を上回る状況が続いており、東京圏への人口流出が顕著となっている。

図表：栃木県 地域ブロック別純移動数



出典：「RESAS」より抜粋

(3-4) 出生数

足利市の2015年の出生数は914人。前年からマイナス8.0%、79人の減少。前年より減少となったのは2年ぶり。また10年前の2005年からはマイナス47.3%(年率換算マイナス6.2%)、820人の減少。

図表：足利市の出生数



出典：「GD Freak！」(jp.gdfreak.com)

2. 経済動向

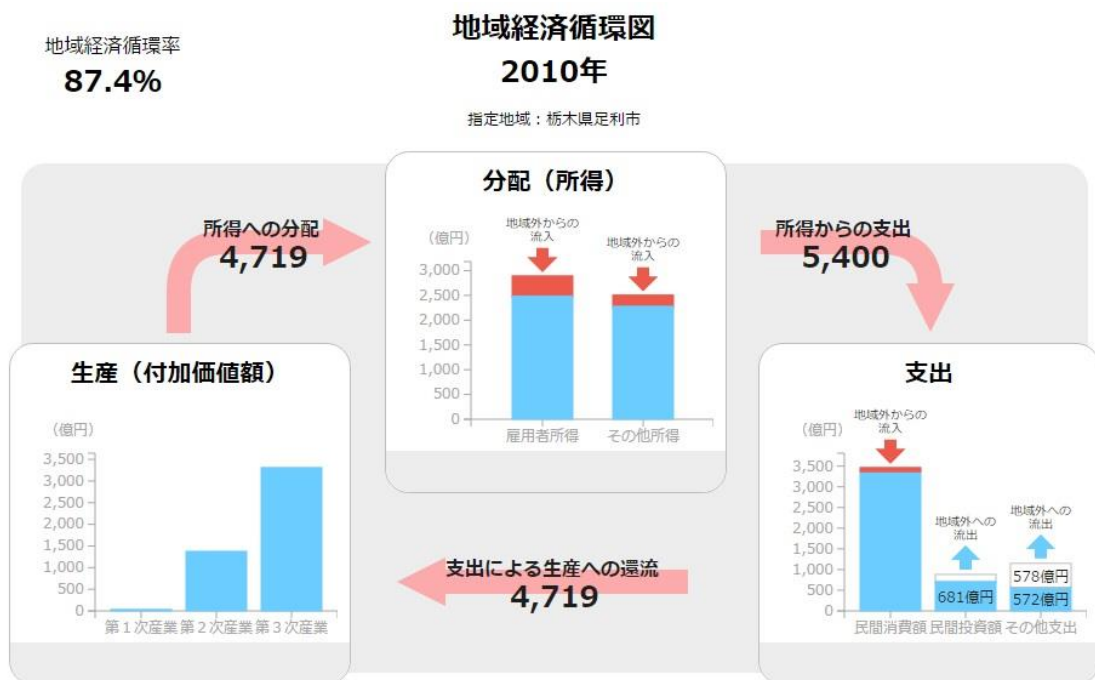
(1-1) 地域経済循環状況

図は「生産（付加価値額）」「分配（所得）」「支出」の三段階を表すもので、地域経済の全体像と各段階におけるお金の流出・流入の状況を把握する図である。

足利市の地域経済循環率は87.4%で栃木県全体の100.2%を下回る。

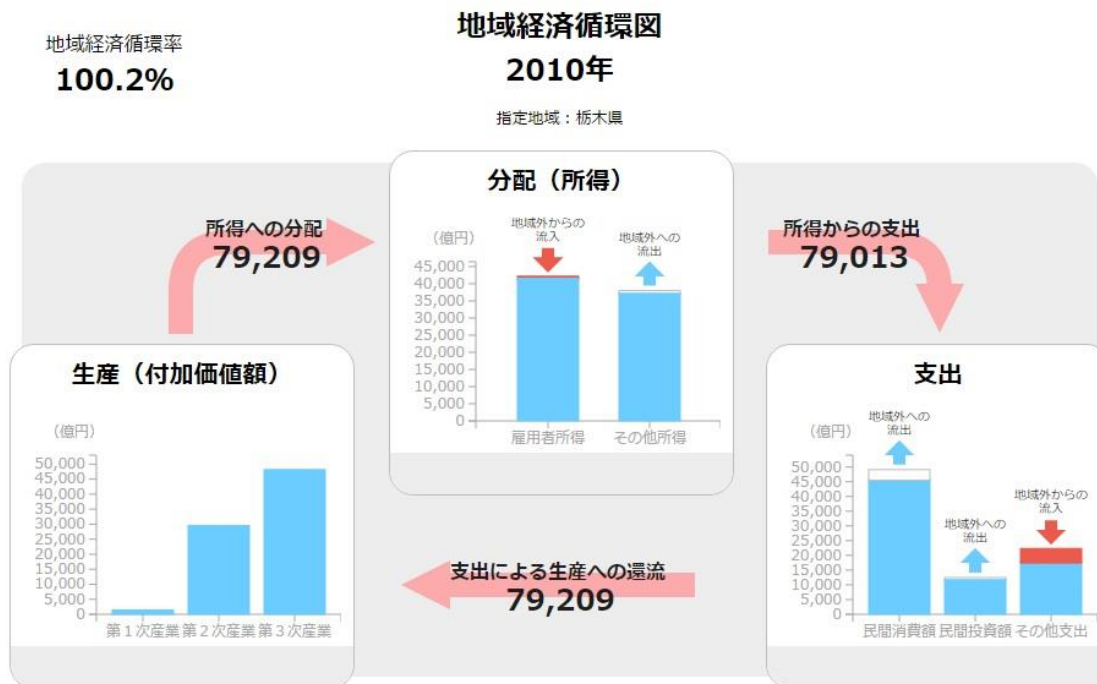
また、第1次産業・第3次産業における一人当たりの付加価値額は県平均との開きは小さいが、第2次産業においては大きく下回っている。

図表：足利市の地域経済循環図（2010年）



出典：「RESAS」より抜粋

図表：栃木県の地域経済循環図（2010年）



出典：「RESAS」より抜粋

付加価値額（一人当たり）

2010年

指定地域：栃木県足利市

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	223万円	583万円	771万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	656位	1,037位	939位

付加価値額（一人当たり）

2010年

指定地域：栃木県

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	255万円	962万円	805万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	5位	6位	27位

所得（一人当たり）

2010年

指定地域：栃木県足利市

	雇業者所得	その他所得
所得 (一人当たり)	392万円	162万円
所得 (一人当たり) 順位	724位	1,426位

所得（一人当たり）

2010年

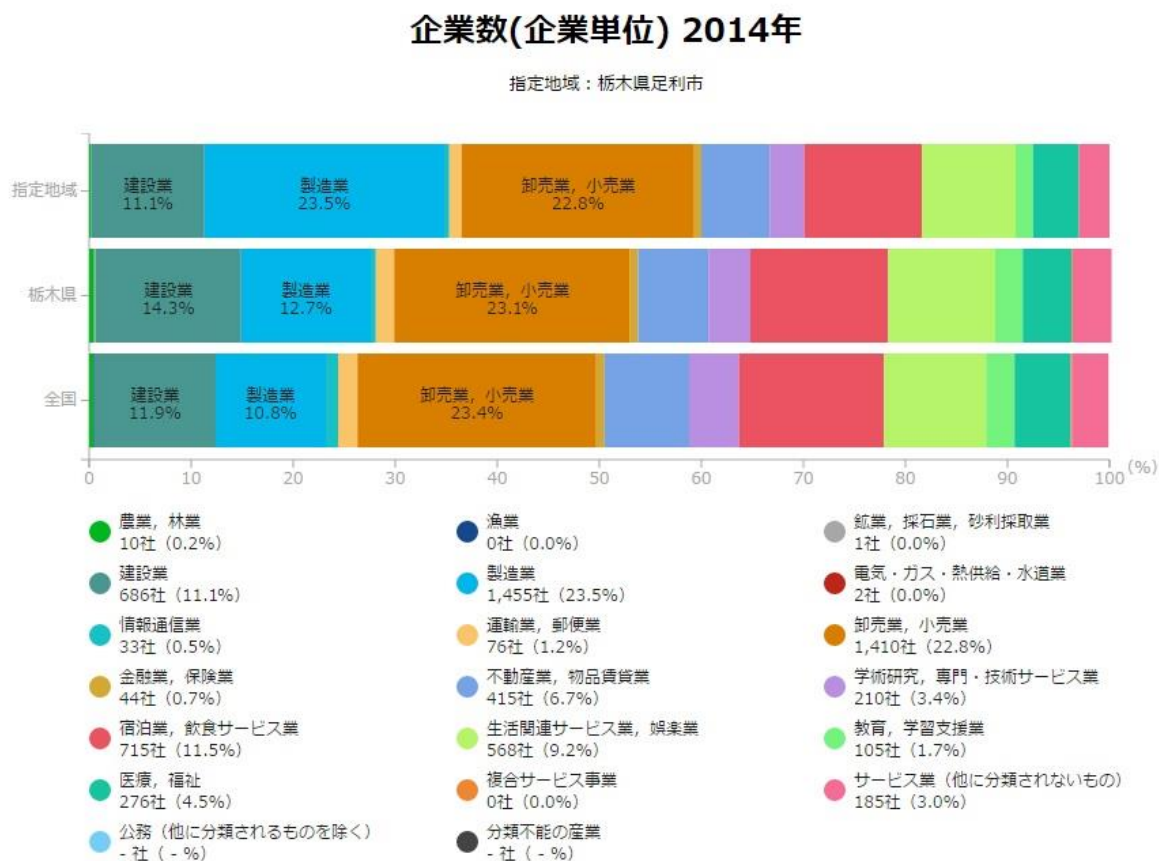
指定地域：栃木県

	雇業者所得	その他所得
所得 (一人当たり)	432万円	183万円
所得 (一人当たり) 順位	9位	40位

(1-2) 足利市の産業

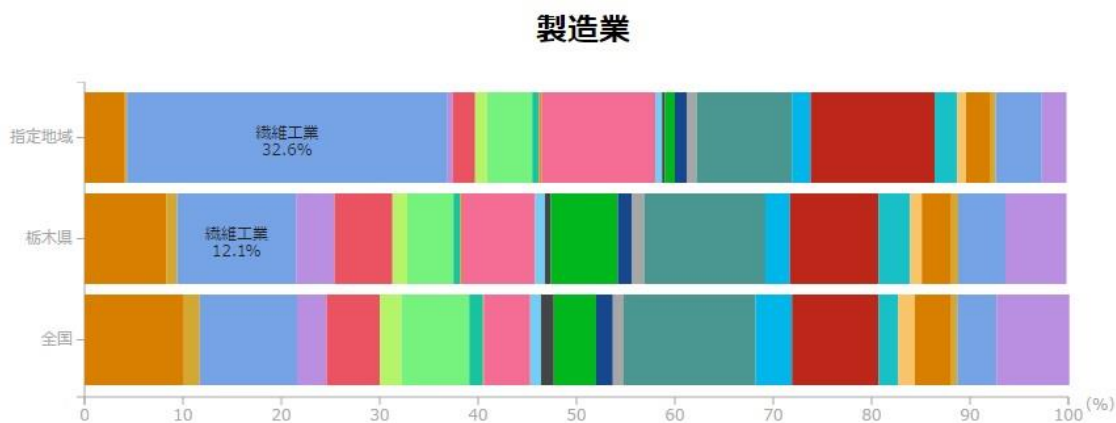
足利市の2014年の企業数は、製造業が栃木県平均を大きく上回る23.5%を占めており全国平均の2倍以上となっている。製造業の中でも繊維工業が突出し、栃木県および全国平均を大幅に上回っている。

図表：足利市の企業数割合（2014年）



出典：「RESAS」

図表：足利市の製造業内訳（2014年）

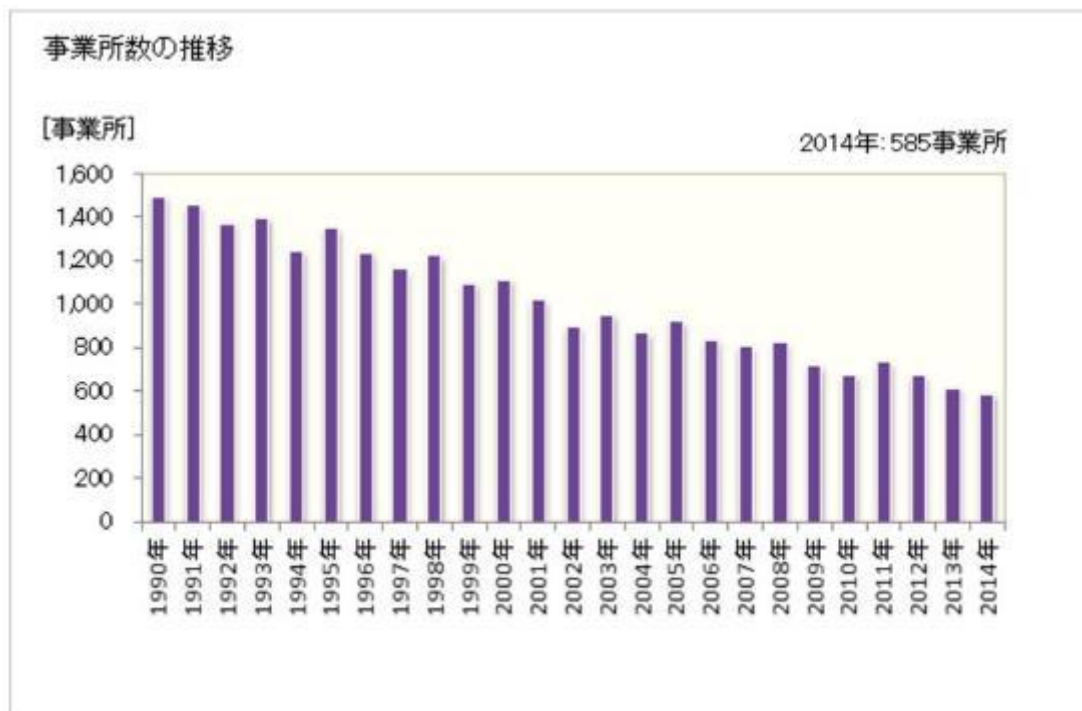


出典：「RESAS」

(2-1) 足利市の製造業

2014年における足利市の製造業の事業所数は前年比4.4%減の585事業所。3年連続の減少。2014年において最も事業数が多い業種は、繊維工業の107事業所。次いで多いのはプラスチック製品製造業(104)、金属製品製造業(80)、生産用機械器具製造業(71)。

図表：足利市の製造業事業所数の推移（2014年）

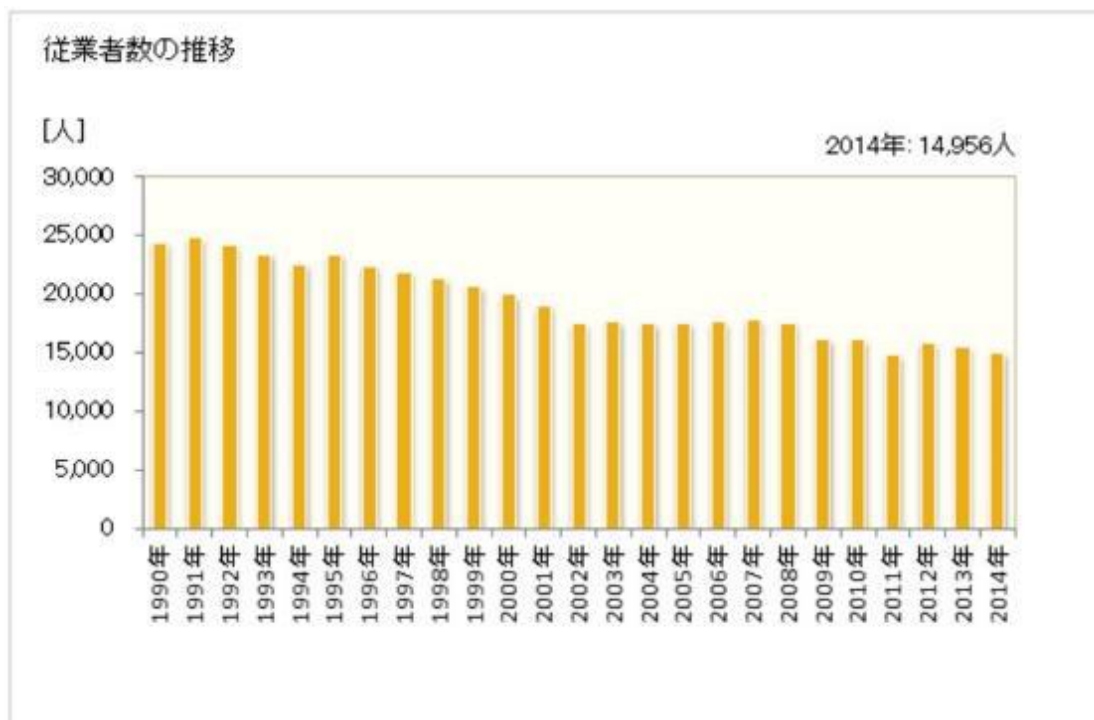


出典：「GD Freak！」(jp.gdfreak.com)

(2-2) 製造業における従業者

2014年における足利市の製造業の従業者数は前年比2.8%減の14,956人。2年連続の減少。2014年において最も従業者数が多い業種は、プラスチック製品製造業の2,671人(製造業全体の17.9%)。次いで多いのは、輸送用機械器具製造業(2,538人、17.0%)、食料品製造業(2,046人、13.7%)、金属製品製造業(1,449人、9.7%)。2010年国勢調査によると、足利市の全産業の就業者にしめる製造業就業者の割合は30.0%(全国平均16.1%)。

図表：足利市の製造業における従業者数の推移（2014年）



出典：「GD Freak！」(jp.gdfreak.com)

(2-3) 製造品出荷額

2014年における足利市の製造業の製造品出荷額等は前年比5.9%増の3,507億円。前年より増加となったのは2年ぶり。2014年において最も出荷額等が多い業種は、輸送用機械器具製造業の754億円(製造業全体の21.5%)。次いで多いのは、プラスチック製品製造業(714億円、20.3%)、金属製品製造業(474億円、13.5%)、食料品製造業(330億円、9.4%)。

図表：足利市の製造品出荷額等の推移(2014年)



出典：「GD Freak！」(jp.gdfreak.com)

(2-4) 製造業の労働生産性

2014年における足利市の製造業の労働生産性(1人当たり粗付加価値額)は前年比5.4%増の883万円/人。2年連続の増加。2014年では全国平均の65.9%の水準。

図表：足利市の製造品出荷額等の推移(2014年)



出典：「GD Freak！」(jp.gdfreak.com)

(2-5) 足利市の繊維業出荷額

2014年の商業の年間商品販売額は2,586億円。1994年以降の調査の中で最も大きい1994年に比べると57.1%の水準まで減少。また7年前の2007年に比べても▲25.1%、866億円の減少。

図表：足利市の繊維工業製造品出荷額等

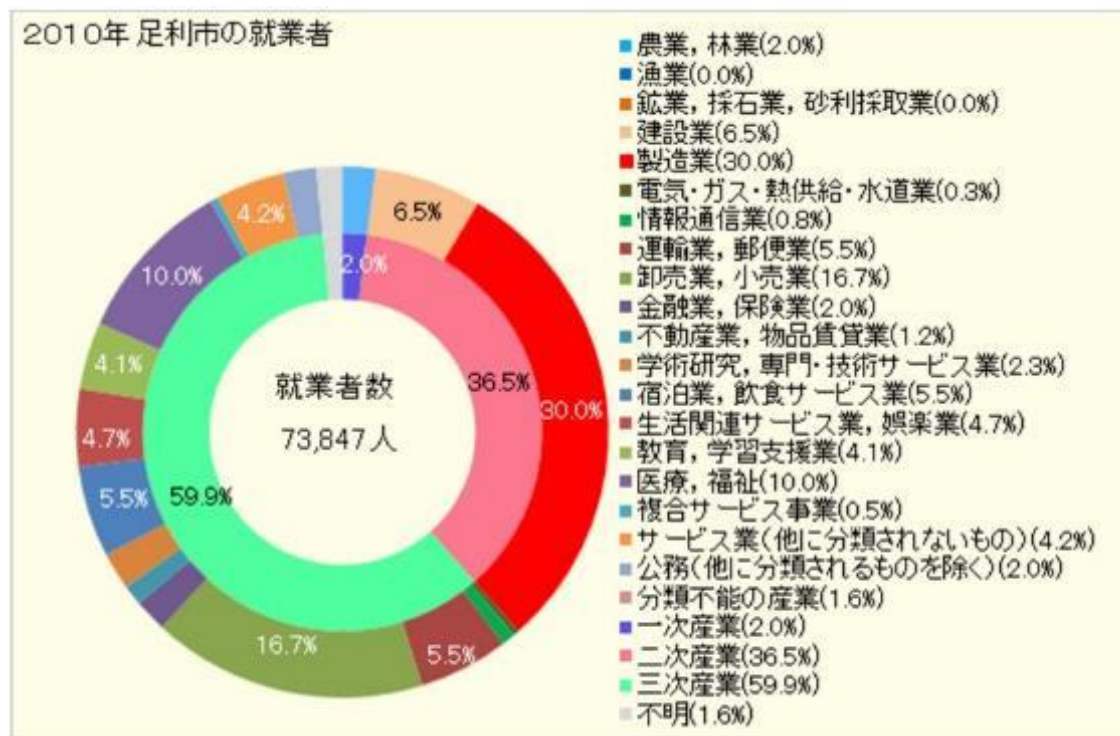


出典：「RESAS」

(3-1) 就業者数とその産業構成

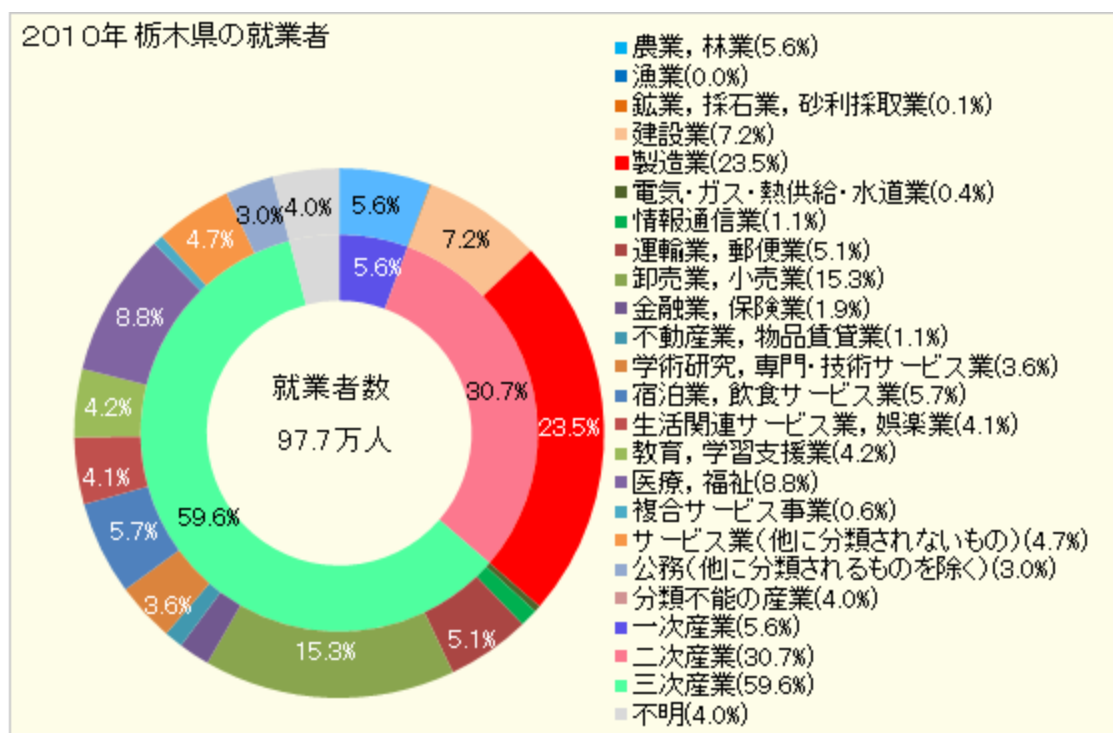
足利市の全就業者数は 73,847 人で、その内訳(不明を除いて計算)は農林水産業の第一次産業が 2.0%(全国:4.2%)、建設業と鉱工業からなる第二次産業が 37.1%(全国:25.2%)、残り 60.9%(全国:70.6%)が第三次産業となっている。全国の産業構成と比べると、第二次産業の割合が高いことが特徴である。

図表：足利市の就業者数とその産業構成（2010年）



出典：「GD Freak！」(jp.gdfreak.com)

図表：栃木県の就業者数とその産業構成（2010年）



出典：「GD Freak！」(jp.gdfreak.com) 2016.12.12

まとめ

- 足利市の人口は、栃木県全体同様に減少傾向にあるが、2012 年以降の転入が大きく増加している。一方で 2015 年の出生率が 2 年振りに減少した。
- 足利銘仙と呼ばれる絹織物をはじめとする繊維製造業も 2008 年以降衰退の一途を辿っているのが現状。地域の産業そのものが手間や生産コストを抑えたものづくりへとシフトするとともに後継者不在による事業の清算が相次いでいる。
- 一方、縁の飾りに使われるトーションレースと呼ばれる細幅のレースの生産に関しては国内生産量の 8 割を占め、日本のトーションレースの代表的な生産地域となっている。
- 人口減少と少子高齢化にともなう生産年齢人口の減少により、労働力人口の減少（担い手不足）や消費意欲の低下、消費者数の減少によるサービスの過剰化（需給バランスの不均衡）を招き、経済成長の鈍化や消費市場の縮小が懸念される。（「足利市人口ビジョン」引用）
- 特に、減少傾向にある第 1 次産業と第 2 次産業の就業人口のさらなる減少や、事業主の高齢化などによる地域産業の競争力の低下、中心市街地の空洞化や地元商店街の衰退が予想される。（「足利市人口ビジョン」引用）
- 当商工会としては、長年の伝統と地域独自の繊維産業を活かし観光の土台を築くこと、積極的な商圏拡大の策を練ることが急務といえる。今後、地域の小規模事業者に対し IT 活用による販売促進や新たな商品開発、後継者育成を踏まえた経営計画の策定を促し、業績向上と地区の活性化を図っていく。

Ⅱ. 栃木県の情報

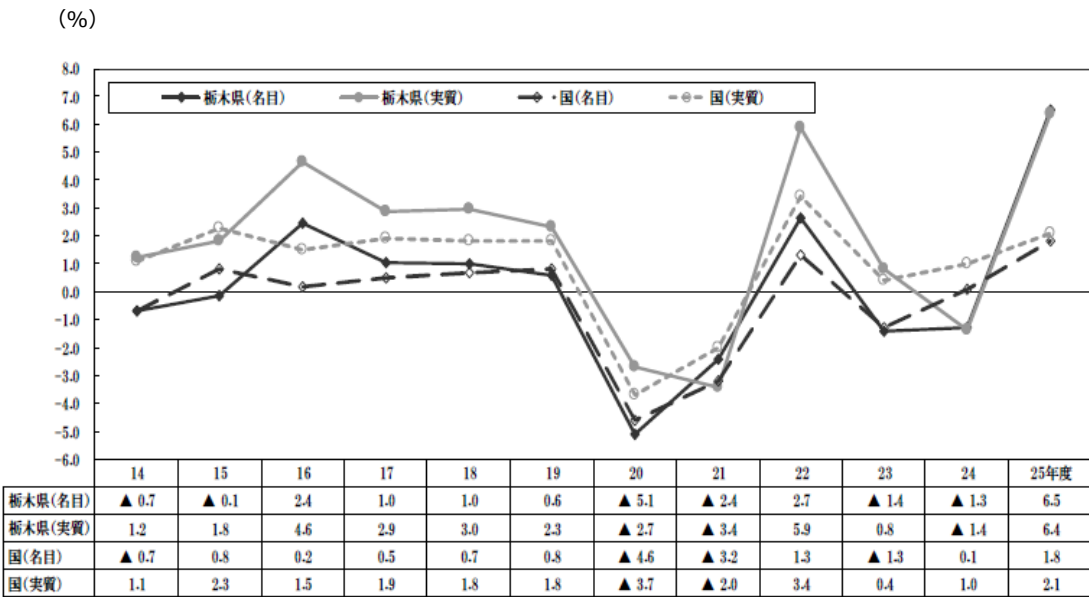
1. 県民経済計算

図表：県（国）民経済計算の概要

区 分		単位	実数		対前年度増加率(%)	
			24年度	25年度	24年度	25年度
栃木県	県内総生産(名目)	億円	77,271	82,322	▲ 1.3	6.5
	県内総生産(実質)	億円	85,573	91,022	▲ 1.4	6.4
	県民所得	億円	59,751	64,632	▲ 0.3	8.2
	一人当たり県民所得	千円	3,000	3,255	0.1	8.5
国	国内総生産(名目)	億円	4,744,749	4,831,103	0.1	1.8
	国内総生産(実質)	億円	5,196,318	5,305,915	1.0	2.1
	国民所得	億円	3,519,578	3,620,550	0.7	2.9
	一人当たり国民所得	千円	2,761	2,845	0.9	3.0

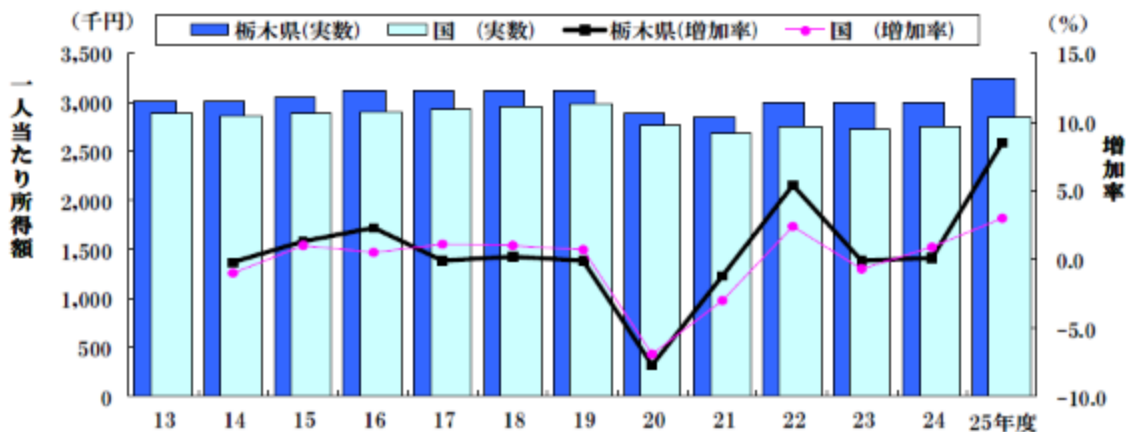
出典：栃木県「平成 25 年度県民経済計算の概要」

図表：経済成長率の推移



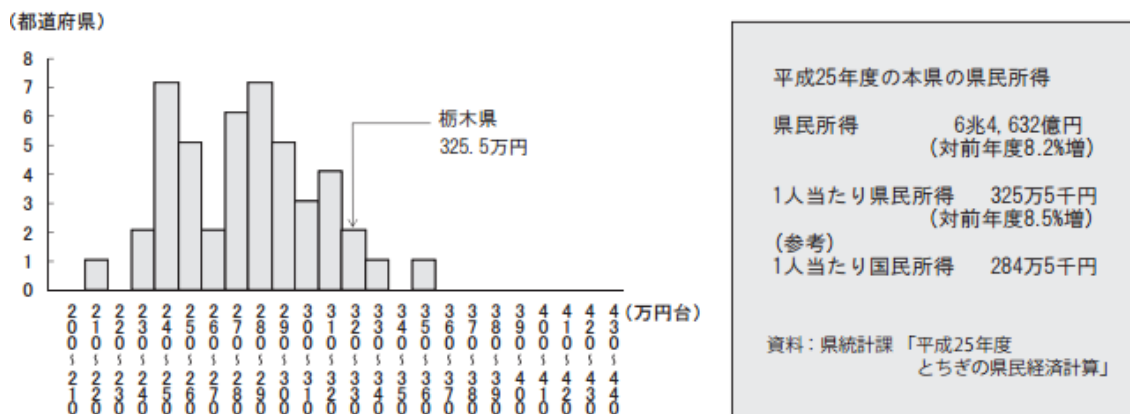
出典：栃木県「平成 25 年度県民経済計算の概要」

図表：1人あたり県（国）民所得の推移



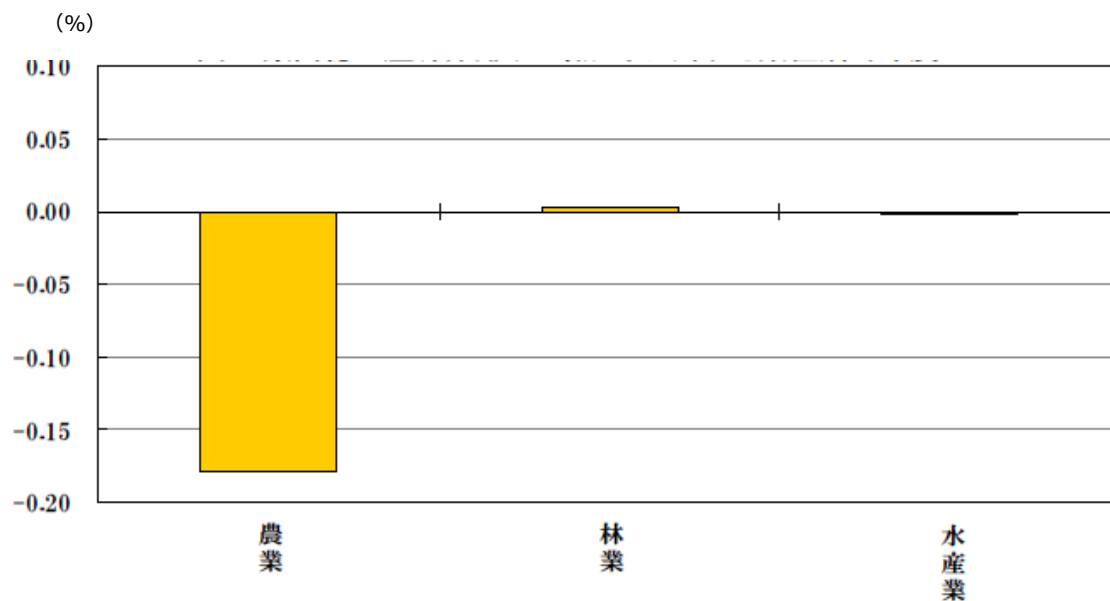
出典：栃木県「平成 25 年度県民経済計算の概要」

図表：1人あたり県民所得の分布状況



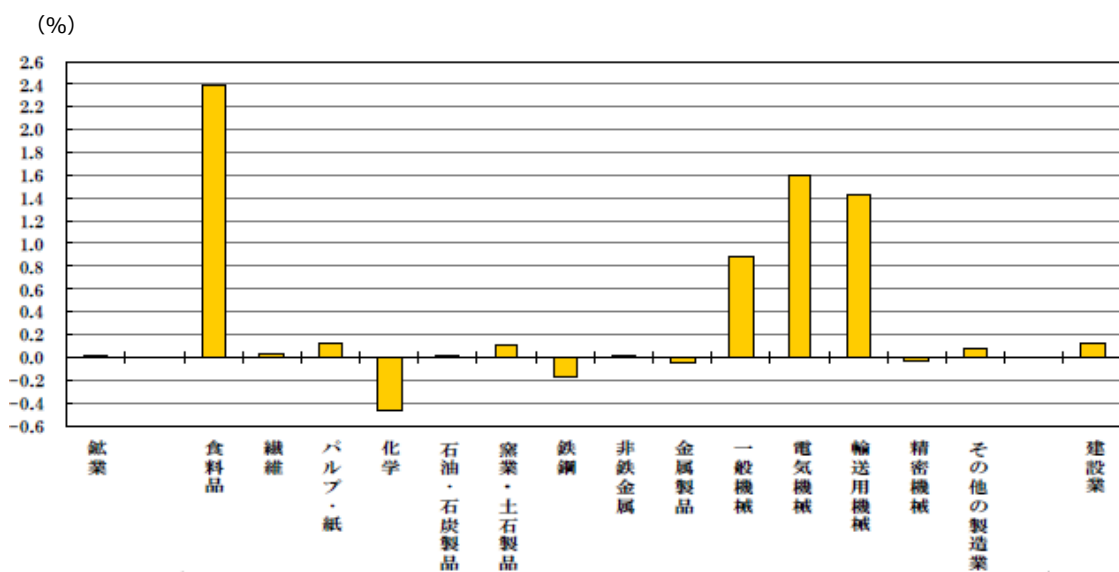
出典：栃木県「とちぎの統計情報」（2015年）

図表：県内総生産(名目値)の増加率に対する第1次産業の寄与度



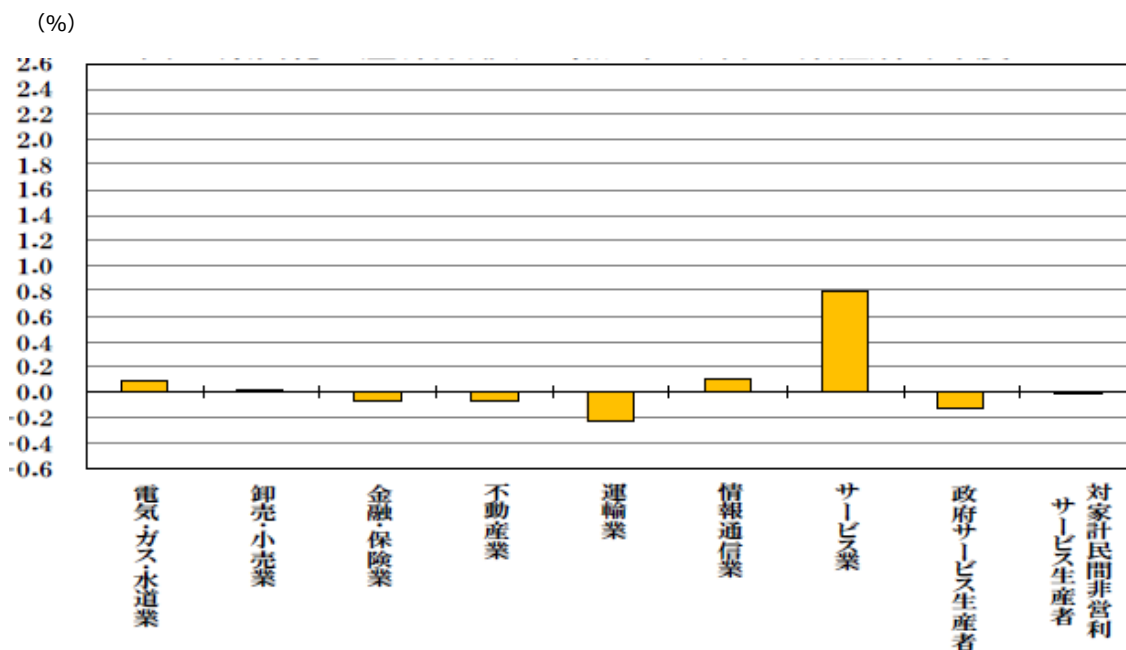
出典：栃木県「平成 25 年度県民経済計算の概要」

図表：県内総生産(名目値)の増加率に対する第2次産業の寄与度



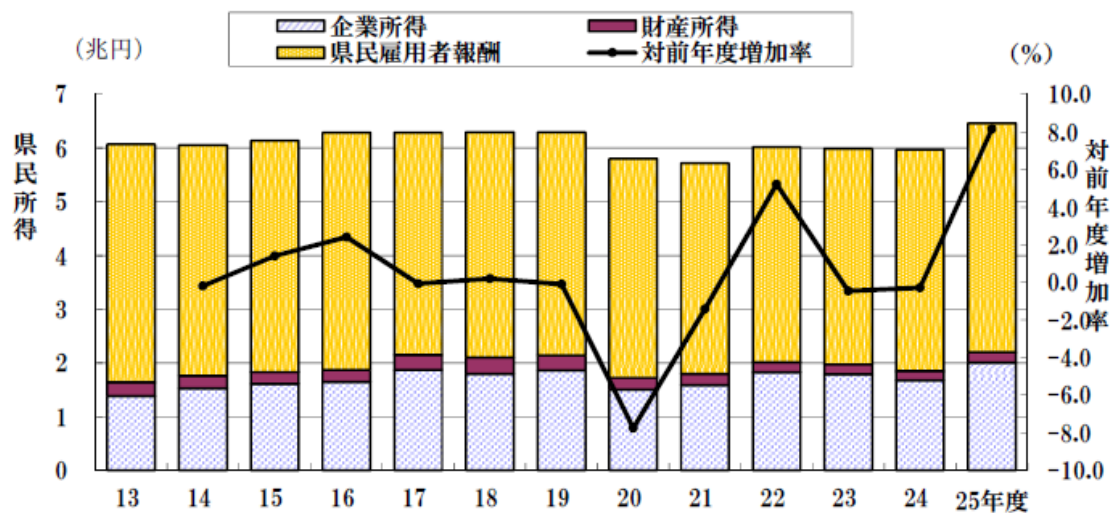
出典：栃木県「平成 25 年度県民経済計算の概要」

図表：県内総生産(名目値)の増加率に対する第3次産業の寄与度



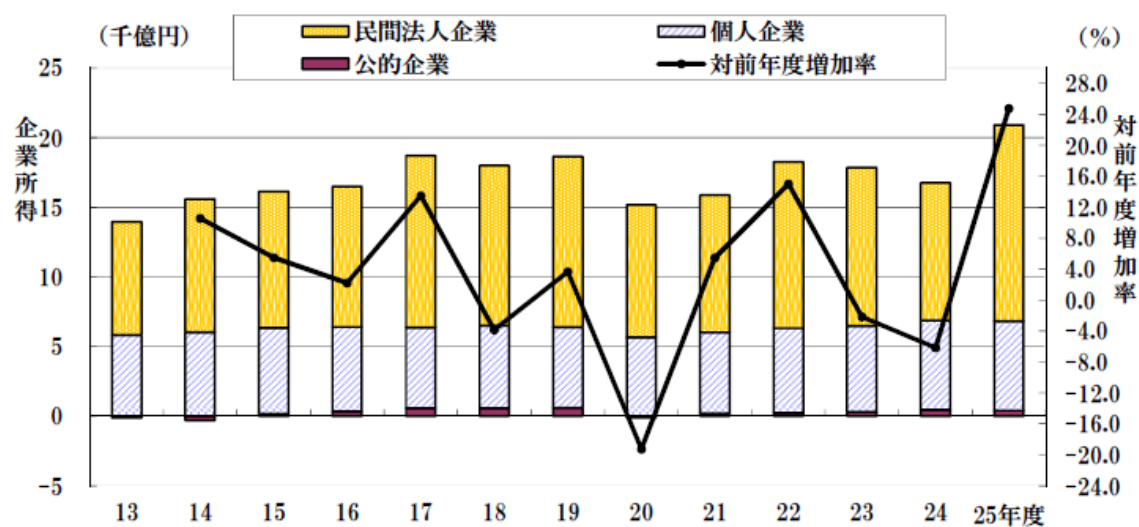
出典：栃木県「平成 25 年度県民経済計算の概要」

図表：県民所得（分配）の推移



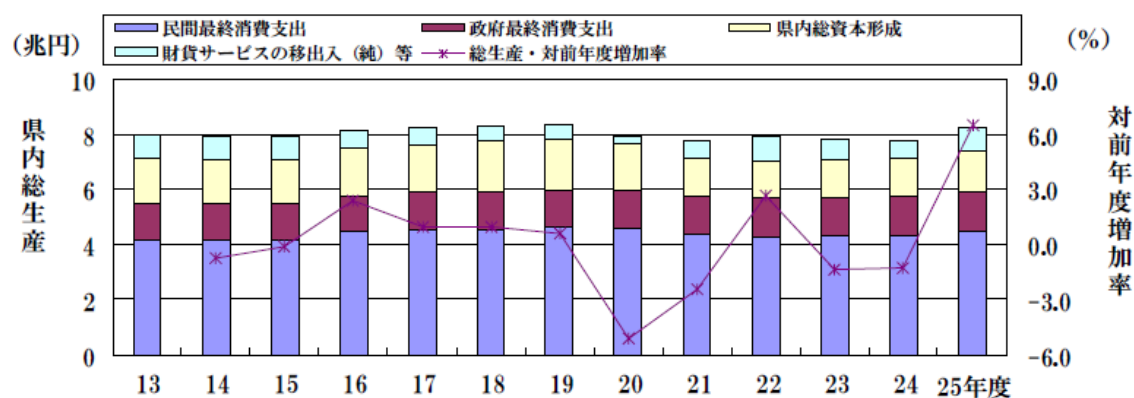
出典：栃木県「平成 25 年度とちぎの市町村民経済計算」

図表：企業所得の推移



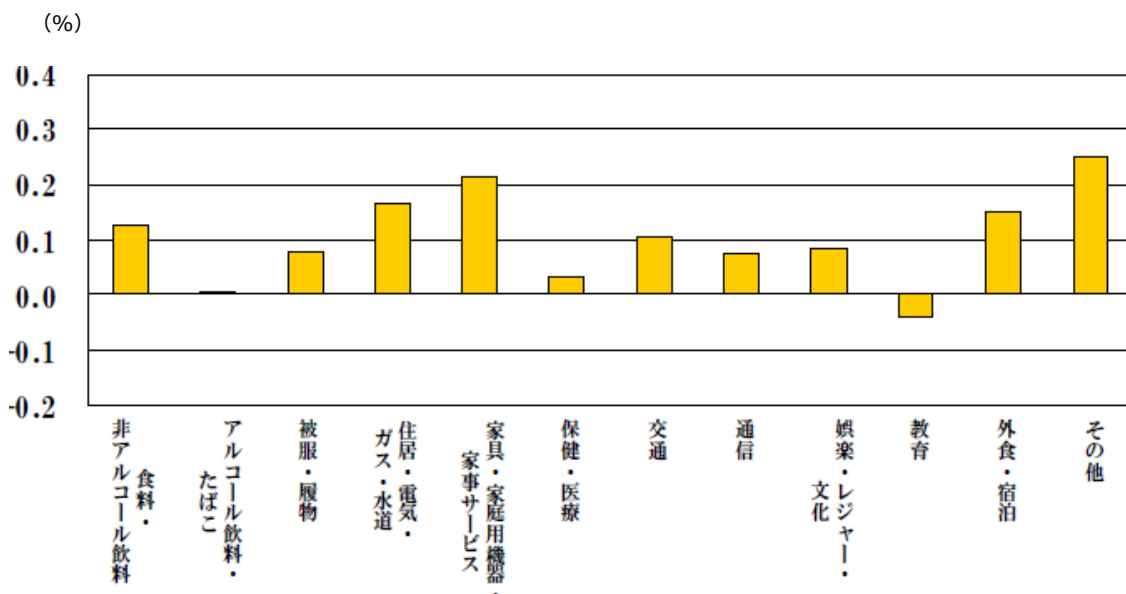
出典：栃木県「平成 25 年度とちぎの市町村民経済計算」

図表：県内総生産(支出側)の推移



出典：栃木県「平成 25 年度とちぎの市町村民経済計算」

図表：県内総生産(名目値)の増加率に対する目的別増加寄与度



出典：栃木県「平成 25 年度とちぎの市町村民経済計算」

2. 市町村民経済計算

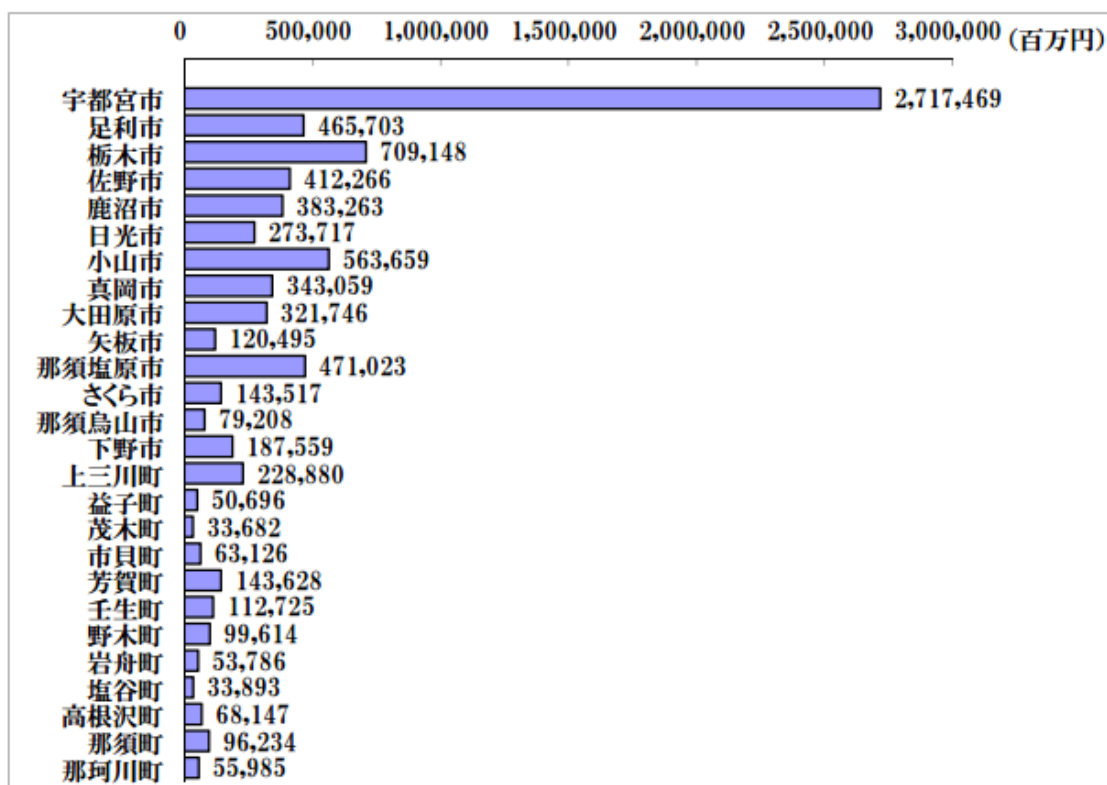
図表：市町村内総生産額（名目）、対前年度比、構成比

（単位：百万円、％）

市町村	市町村内総生産額 (名目)			対前年度比 (経済成長率・名目)		構成比	
	24年度	25年度	増減	24年度	25年度	24年度	25年度
	栃木県	7,727,105		8,232,227	505,122	▲ 1.3	6.5
宇都宮市	2,482,312	2,717,469	235,157	▲ 2.3	9.5	32.1	33.0
足利市	466,988	465,703	▲ 1,285	1.2	▲ 0.3	6.0	5.7
栃木市	658,253	709,148	50,895	3.3	7.7	8.5	8.6
佐野市	408,400	412,266	3,866	▲ 3.9	0.9	5.3	5.0
鹿沼市	348,392	383,263	34,871	▲ 2.7	10.0	4.5	4.7
日光市	268,228	273,717	5,489	▲ 1.0	2.0	3.5	3.3
小山市	564,379	563,659	▲ 720	▲ 7.4	▲ 0.1	7.3	6.8
真岡市	326,215	343,059	16,844	3.6	5.2	4.2	4.2
大田原市	307,134	321,746	14,612	▲ 0.4	4.8	4.0	3.9
矢板市	116,661	120,495	3,834	▲ 5.8	3.3	1.5	1.5
那須塩原市	465,569	471,023	5,454	9.1	1.2	6.0	5.7
さくら市	144,606	143,517	▲ 1,088	1.9	▲ 0.8	1.9	1.7
那須烏山市	81,406	79,208	▲ 2,198	▲ 3.3	▲ 2.7	1.1	1.0
下野市	179,445	187,559	8,114	4.2	4.5	2.3	2.3
上三川町	144,441	228,880	84,439	▲ 24.8	58.5	1.9	2.8
益子町	51,830	50,696	▲ 1,134	4.7	▲ 2.2	0.7	0.6
茂木町	33,061	33,682	621	▲ 1.3	1.9	0.4	0.4
市貝町	56,589	63,126	6,537	23.6	11.6	0.7	0.8
芳賀町	118,003	143,628	25,625	▲ 3.7	21.7	1.5	1.7
壬生町	114,656	112,725	▲ 1,930	▲ 0.0	▲ 1.7	1.5	1.4
野木町	92,162	99,614	7,451	6.3	8.1	1.2	1.2
岩舟町	51,978	53,786	1,808	4.3	3.5	0.7	0.7
塩谷町	29,411	33,893	4,481	▲ 7.8	15.2	0.4	0.4
高根沢町	66,962	68,147	1,184	▲ 3.8	1.8	0.9	0.8
那須町	93,551	96,234	2,683	▲ 2.4	2.9	1.2	1.2
那珂川町	56,473	55,985	▲ 489	▲ 5.7	▲ 0.9	0.7	0.7

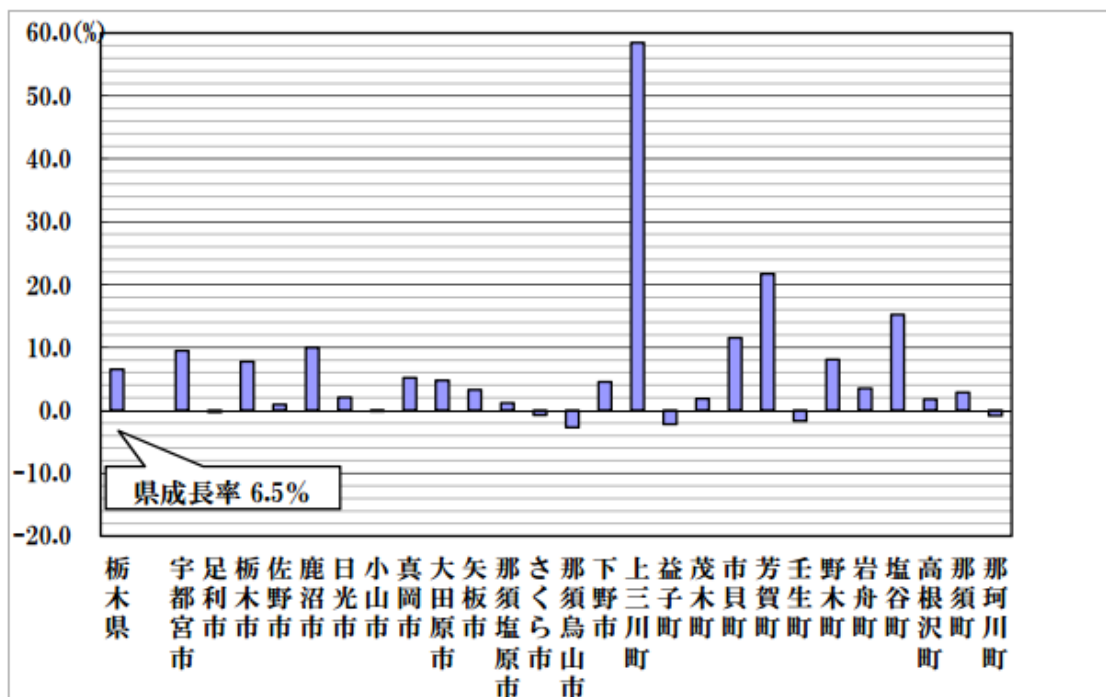
出典：栃木県「平成 25 年度とちぎの市町村民経済計算（概要）」

図表：市町内総生産額



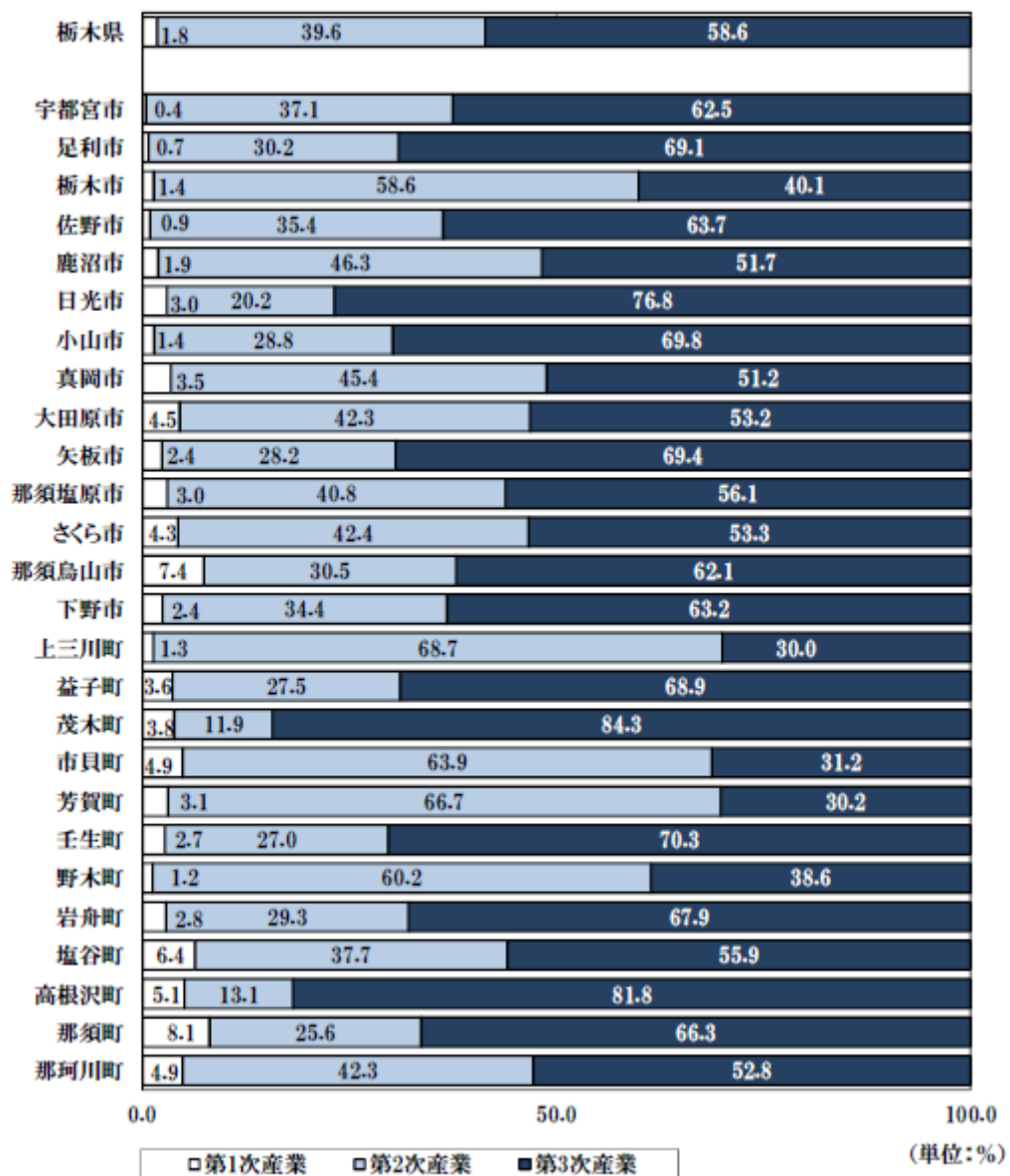
出典：栃木県「平成 25 年度とちぎの市町村民経済計算（概要）」

図表：経済成長率(対前年度比)



出典：栃木県「平成 25 年度とちぎの市町村民経済計算（概要）」

図表：市町別産業構造



出典：栃木県「平成 25 年度とちぎの市町村民経済計算（概要）」

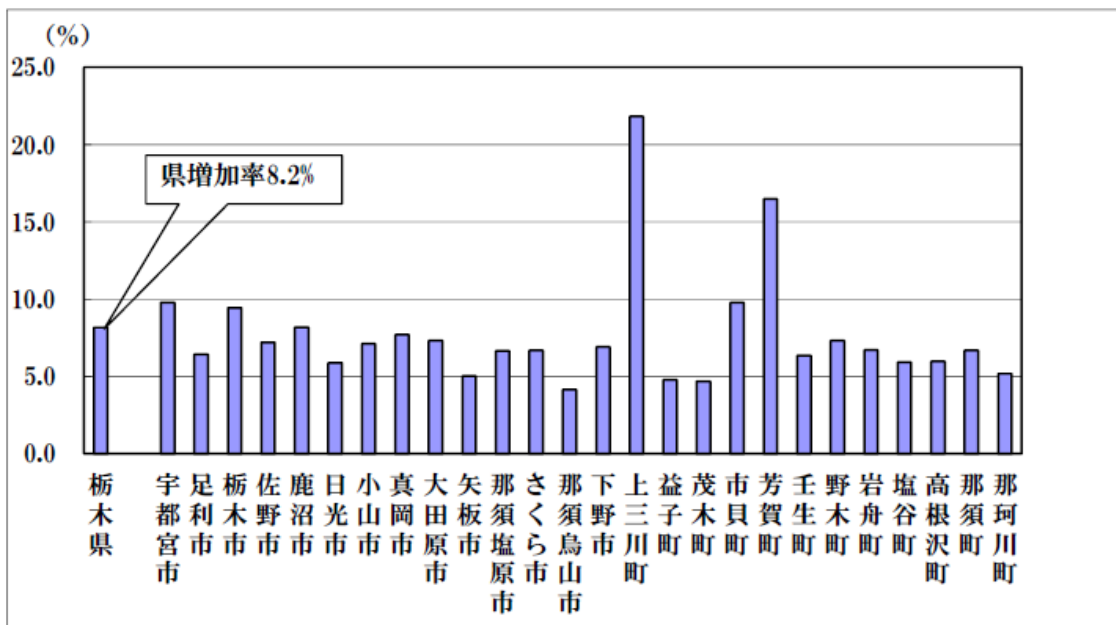
図表：市町村民所得額、対前年比、構成比

(単位：百万円、%)

市町村	市町村民所得額			対前年度比		構成比	
	24年度	25年度	増減	24年度	25年度	24年度	25年度
栃木県	5,975,074	6,463,154	488,080	▲ 0.3	8.2	100.0	100.0
宇都宮市	1,709,596	1,876,795	167,199	▲ 0.5	9.8	28.6	29.0
足利市	416,876	443,652	26,776	▲ 0.1	6.4	7.0	6.9
栃木市	429,905	470,432	40,527	▲ 0.1	9.4	7.2	7.3
佐野市	338,228	362,595	24,367	▲ 0.9	7.2	5.7	5.6
鹿沼市	291,228	315,085	23,856	▲ 0.3	8.2	4.9	4.9
日光市	238,285	252,285	14,000	▲ 0.4	5.9	4.0	3.9
小山市	492,330	527,356	35,025	▲ 0.5	7.1	8.2	8.2
真岡市	239,036	257,424	18,388	0.3	7.7	4.0	4.0
大田原市	218,308	234,255	15,947	0.0	7.3	3.7	3.6
矢板市	93,850	98,553	4,703	▲ 3.0	5.0	1.6	1.5
那須塩原市	349,670	372,963	23,293	1.4	6.7	5.9	5.8
さくら市	127,034	135,515	8,481	0.6	6.7	2.1	2.1
那須烏山市	75,543	78,679	3,136	▲ 1.1	4.2	1.3	1.2
下野市	186,429	199,279	12,851	1.5	6.9	3.1	3.1
上三川町	99,333	120,999	21,666	▲ 8.0	21.8	1.7	1.9
益子町	62,741	65,735	2,994	1.9	4.8	1.1	1.0
茂木町	35,512	37,174	1,662	▲ 0.8	4.7	0.6	0.6
市貝町	38,446	42,204	3,758	3.9	9.8	0.6	0.7
芳賀町	54,558	63,547	8,990	▲ 3.1	16.5	0.9	1.0
壬生町	112,053	119,155	7,102	1.4	6.3	1.9	1.8
野木町	77,593	83,266	5,672	▲ 0.3	7.3	1.3	1.3
岩舟町	49,981	53,327	3,346	0.8	6.7	0.8	0.8
塩谷町	31,873	33,760	1,887	▲ 1.0	5.9	0.5	0.5
高根沢町	89,892	95,263	5,370	1.1	6.0	1.5	1.5
那須町	69,511	74,154	4,643	0.4	6.7	1.2	1.1
那珂川町	47,263	49,702	2,439	▲ 1.5	5.2	0.8	0.8

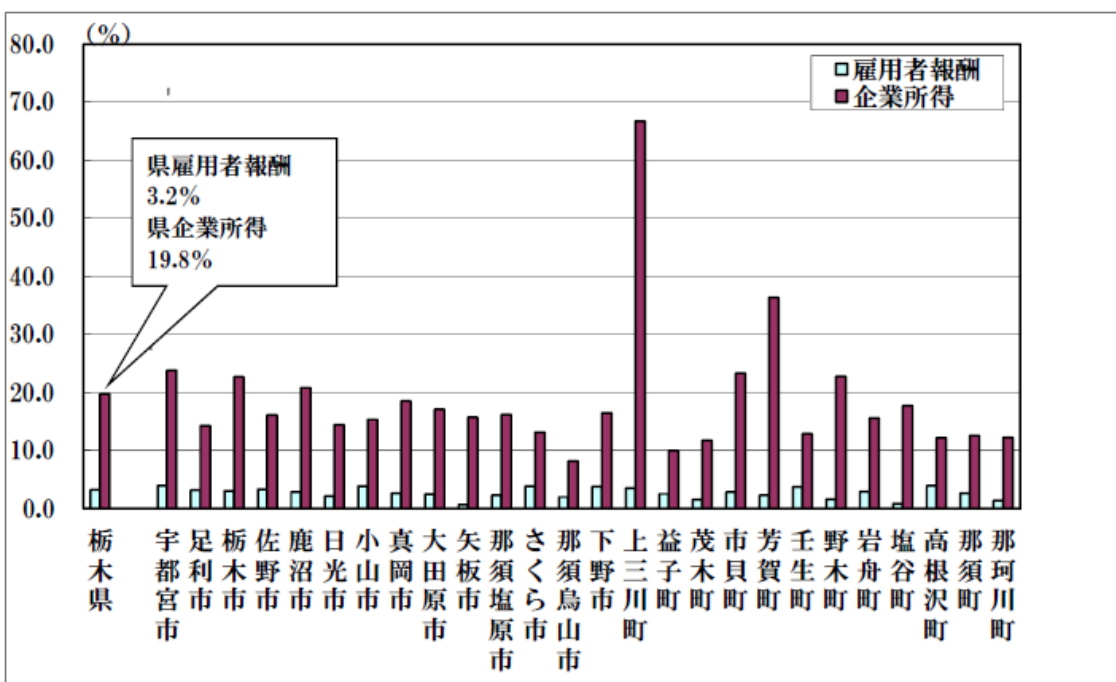
出典：栃木県「平成 25 年度とちぎの市町村民経済計算（概要）」

図表：市町民所得（対前年度比）



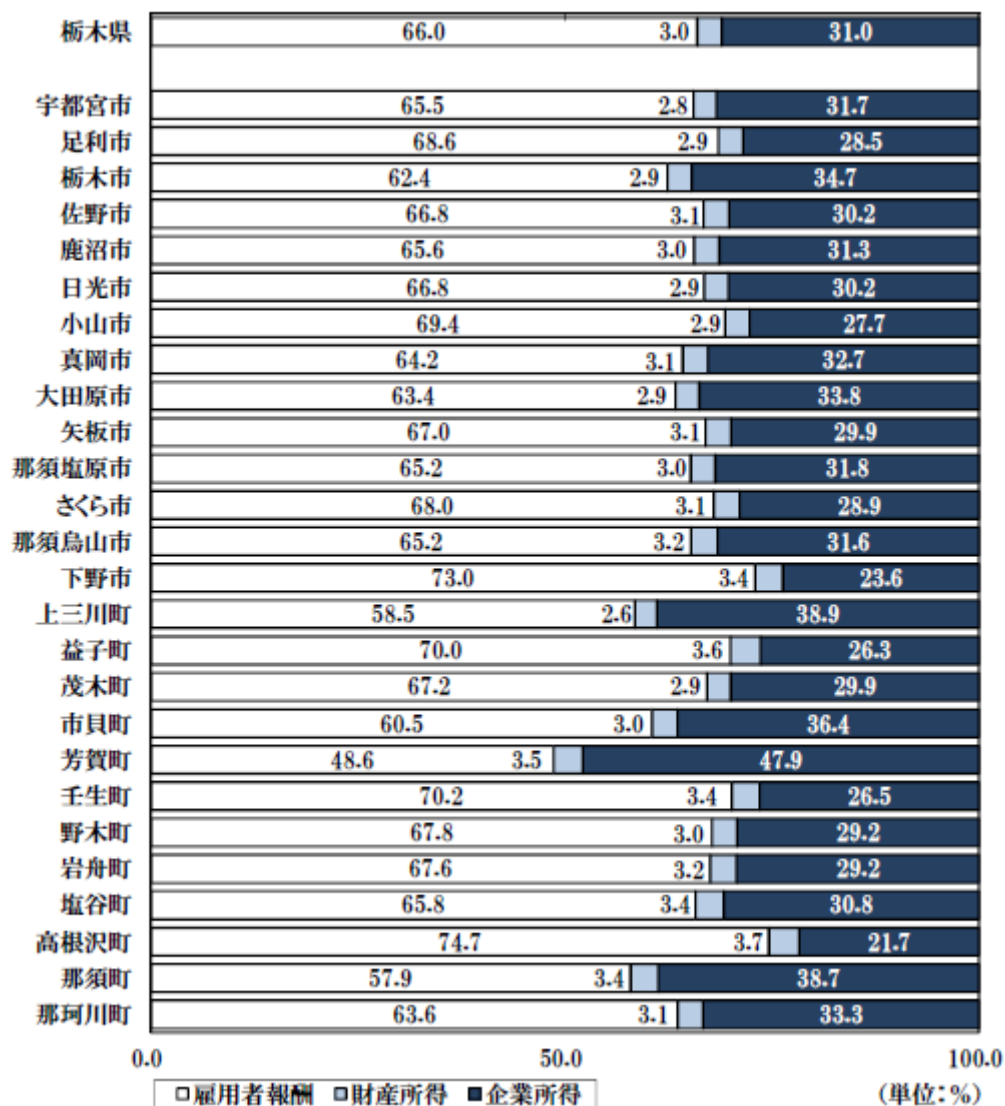
出典：栃木県「平成 25 年度とちぎの市町村経済計算（概要）」

図表：雇用者報酬・企業所得（対前年度比）



出典：栃木県「平成 25 年度とちぎの市町村経済計算（概要）」

図表：所得の構成



出典：栃木県「平成 25 年度とちぎの市町村民経済計算（概要）」

3. 栃木県の工業製品、農産物

図表：栃木県が製造品出荷額第1位の工業製品

分類	製造品	出荷額 (百万円)	出荷額 (全国) (百万円)	全国 順位	シェア (%)	年
木材・木製品	木質系プレハブ住宅	4,261	7,795	1位	54.7	H25
パルプ・紙・紙加工品	絶縁紙、絶縁テープ	1,453	3,054	1位	47.6	H25
プラスチック製品	硬質プラスチック発泡製品（厚板）（厚さ3mm以上）	21,030	93,060	1位	22.6	H25
金属製品	シャッタ	19,673	94,742	1位	20.8	H25
生産用機械器具	半導体製造装置の部分品・取付具・附属品	39,315	337,340	1位	11.7	H25
業務用機械器具	工業用長さ計	8,472	33,750	1位	25.1	H25
	歯科用機械器具、同装置	22,615	64,900	1位	34.8	H25
	カメラ用交換レンズ	108,971	176,628	1位	61.7	H25
	光学レンズ	15,803	79,086	1位	20.0	H25
その他の製品	万年筆・シャープペンシル部分品、ペン先、ペン軸	713	3,795	1位	18.8	H25

資料：経済産業省「平成25年工業統計調査」

出典：「平成27年版 とちぎの指標」

図表：栃木県が収穫量上位の農産物

品目	収穫量 (トン)	収穫量 (全国) (トン)	全国 順位	シェア (%)	年
いちご	25,400	164,000	1位	15.5	H26
二条大麦	35,900	113,000	1位	31.8	H27
かんぴょう	382	388	1位	98.5	H24
陸稲	709	2,700	2位	26.3	H27
にら	11,000	61,400	2位	17.9	H26
こんにゃくいも	1,790	61,300	2位	2.9	H27
青刈りとうもろこし	237,200	4,823,000	2位	4.9	H27
日本なし	20,700	247,300	3位	8.4	H27
六条大麦	5,480	52,700	4位	10.4	H27

資料：農林水産省「作物統計」「特定作物統計調査」「地域特産野菜生産状況」

品目	栃木県	全国	全国 順位	シェア (%)	年
乳用牛飼育頭数(頭)	53,500	1,371,000	2位	3.9	H27
生乳生産量(トン)	317,150	7,334,264	2位	4.3	H26

資料：農林水産省「畜産統計」

品目	出荷量 (千本)	出荷量 (全国) (千本)	全国 順位	シェア (%)	年
スプレイぎく(切り花)	21,800	241,700	3位	9.0	H26

資料：農林水産省「平成26年産花き生産出荷統計」

出典：「平成27年版 とちぎの指標」

4. 栃木県内事業所数、従業者数等

図表：県内事業所数

	事業所数	民営事業所数			国、地方公共団体
		H26	H24	H26 増減率 (%)	H26
栃木県	93,428	92,263	91,073	▲ 1.3	2,355
全国に占める割合(%)	1.6	1.6	1.6	-	1.6
全 国	5,926,804	5,768,489	5,779,072	0.2	147,732

注1：民営事業所数（H24）は、すべての民営事業所数で、直近での比較が可能な24年活動調査を記載した。

注2：事業所数、民営事業所数及び国、地方公共団体の事業所数について、平成21年経済センサス-基礎調査と比較した状況は次のとおり。

- ・ 事業所数 8.3%減（H21 101,926事業所）
- ・ 民営事業所数 8.4%減（H21 99,390事業所）
- ・ 国、地方公共団体の事業所数 7.1%減（H21 2,536事業所）

出典：栃木県「平成26年経済センサス-基礎調査」

図表：県内従業者数及び1事業所あたり従業者数

	従業者数	民営従業者数						国、地方公共団体
		H26	H24	H26 増減率 (%)	男性	女性	1事業所 当たり 従業者数	H26
栃木県	931,021	865,025	871,483	0.7	495,380	375,756	9.8	59,538
全国に占める割合(%)	1.5	1.5	1.5	-	1.6	1.5	-	1.4
全 国	61,788,853	55,837,252	57,427,704	2.8	31,939,449	25,402,926	10.4	4,361,149

注1：民営従業者数（H24）は、すべての民営事業所の従業者数で、直近での比較が可能な24年活動調査を記載した。

注2：従業者数、民営従業者数及び国、地方公共団体の従業者数について、平成21年経済センサス-基礎調査と比較した状況は次のとおり。

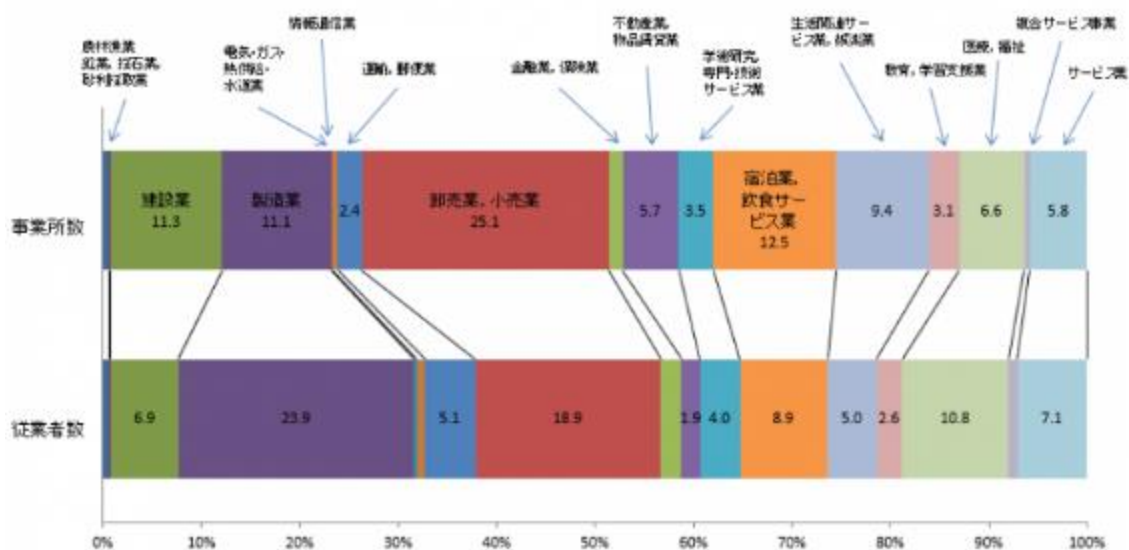
- ・ 従業者数 4.4%減（H21 979,407人）
- ・ 民営従業者数 4.6%減（H21 913,131人）
- ・ 国、地方公共団体の従業者数 1.2%減（H21 60,276人）

注3：従業者数の「総数」には男女別が不詳の従業者を含むため、男性と女性の合計は「総数」と一致しない場合がある。

注4：「従業者数」及び「1事業所当たり従業者数」は、必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計した。

出典：栃木県「平成26年経済センサス-基礎調査」

図表：産業大分類別事業所数及び従業者数の構成比



出典：栃木県「平成 26 年経済センサス-基礎調査」

図表：県内企業等数及び売上高

	企業等数			売上高				
	H24	H26	増減率 (%)	H24 (億円)	H26 (億円)	増減率 (%)	差引額 (億円)	1企業等当たり売上高 (万円)
栃木県	69,185	67,579	▲ 2.3	100,353	95,324	▲ 5.0	▲ 5,029	16,078
全国に占める割合 (%)	1.7	1.6	-	0.8	0.7	-	-	-
全 国	4,128,215	4,098,284	▲ 0.7	13,355,083	13,777,208	3.2	422,125	40,238

注1：企業等数(H24)は、直近での比較が可能な24年活動調査を記載した。

注2：「売上高」、「1企業等当たり売上高」は、必要な事項の数値が得られた企業等を対象として集計した。

出典：栃木県「平成 26 年経済センサス-基礎調査」

【作成／監修】

株式会社U I 志援コンサルティング

〒329-2711

栃木県那須塩原市石林 317 番地 9 BSPビル 2F

中小企業診断士 東 健司